

パブリックコメント用資料

期間：令和5年1月20日

～

令和5年2月3日

大船渡市公共施設等個別施設計画

令和2年3月

令和 年 月改訂

大 船 渡 市

目次

第1章	個別施設計画の概要	1
1-1	【背景・目的】	1
1-2	【位置付け】	2
1-3	【対象期間及び対象施設】	2
1-4	【進行管理】	3
1-5	【推進体制】	3
第2章	縮減目標及び今後の取組方針	4
2-1	【公共建築物に関する方針】	4
2-2	【インフラ資産に関する方針】	4
第3章	対策の優先順位の考え方（施設評価）	5
3-1	【施設保有量の適正化の検討】	5
3-2	【廃止施設・跡地利用の方針】	6
第4章	施設ごとの対応方針	7
4-1	【個別施設計画における事業費試算の考え方】	7
4-2	【公共建築物類型ごとの評価】	9
4-3	【公共建築物の対応方針】	11
(1)	市民文化系施設	13
(2)	社会教育系施設	19
(3)	スポーツ・レクリエーション系施設	21
(4)	産業系施設	29
(5)	学校教育系施設	33
(6)	子育て支援施設	45
(7)	保健・福祉施設	49
(8)	医療施設	51
(9)	行政系施設（庁舎等）	53
(10)	行政系施設（消防・防災施設）	55
(11)	公営住宅	63
(12)	その他施設	71
(13)	公園施設	77
4-4	【インフラ資産の対応方針】	83
第5章	公共施設マネジメントの効果	86
5-1	【将来負担コストの見通し】	86
5-2	【着実な推進に向けて】	88
第6章	財政計画	89
	<参考資料>	90
	1. 大船渡市公共施設等個別施設計画策定に係る庁内検討委員会設置要綱	
	2. 大船渡市公共施設等個別施設計画策定経過	
	3. 大船渡市公共施設等総合管理計画要約版（令和 年 月改訂）	

第 1 章 個別施設計画の概要

1-1 【背景・目的】

人口減少社会の到来は、市民の暮らしや公共サービスに対する考え方を大きく変化させるもので、公共施設等の在り方そのものが一つの分岐点に差し掛かろうとしています。

急速な高齢化の進行や生産年齢人口の減少が見込まれる中においては、国、地方ともに財政状況は厳しさを増し、増加する社会保障関係費を支えるため、投資的経費はますます減少していくことが考えられます。したがって、公共施設等の数や規模を現状のまま維持することは非常に難しいばかりでなく、これからの世代にかかる負担を今のうちから減らしていくためにも、可能な限り早期に対策を講ずる必要があります。

国はこのような状況に対応するため、平成 25 年 11 月に「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、この中で、国や地方公共団体が一丸となってインフラの戦略的な維持管理・更新等を推進することとしています。

本市では、これに対応し、市が保有する建物や道路などのインフラ資産を含んだ公共施設等の全体像を把握するとともに、資産の最適管理に向けた「基本的な考え方や方向性」を示すものとして、平成 29 年 3 月に「大船渡市公共施設等総合管理計画」（以下「公共施設計画」といいます。）を策定しました。

厳しい財政状況下で必要な公共建築物及びインフラ資産の機能を維持していくためには、様々な工夫を凝らし、的確に中長期的な観点に基づいた維持管理・更新等を行うことでトータルコストの縮減や財政負担の平準化を図る必要があります。

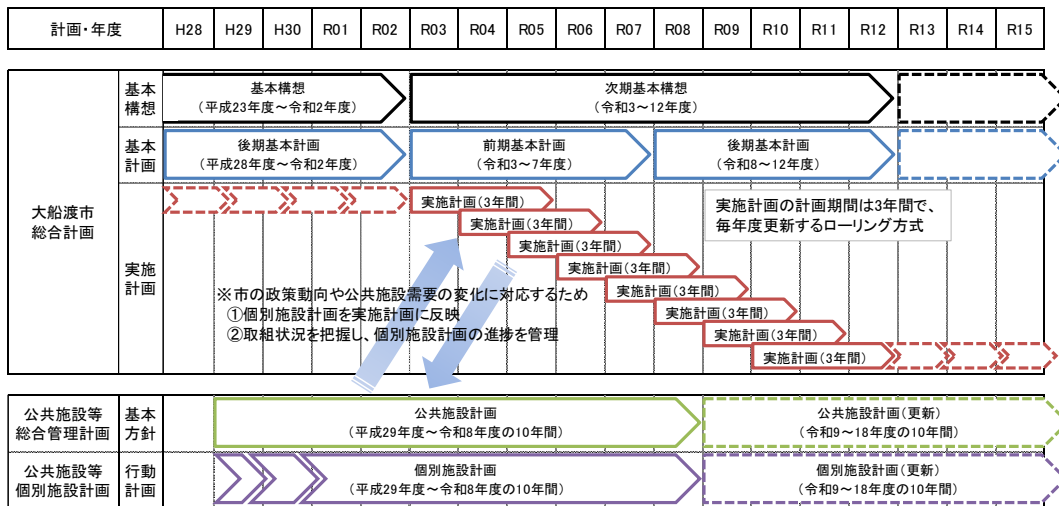
これらを確実に実行するために、施設の特性や維持管理・更新等に係る取組状況等を踏まえつつ、メンテナンスサイクルの核となる施設ごとの具体の対応方針を定める計画として、「大船渡市公共施設等個別施設計画」（以下「個別施設計画」といいます。）を策定するものです。

1-2 【位置付け】

個別施設計画は、上位計画である公共施設計画に基づき、施設ごとの具体的な対応方針を全庁横断的な視点で定めるものであり、他の関連計画や財政運営との整合を図るとともに、大船渡市総合計画実施計画への登載を目指します。

個別施設計画の推進に当たっては、社会情勢や本市の政策動向の変化に伴い、公共施設を取り巻く環境も変化し得ることから、随時、計画内容を見直し、大船渡市総合計画実施計画との整合を図ります。

〔図1 大船渡市総合計画との関係〕



1-3 【対象期間及び対象施設】

個別施設計画の計画期間は、1期間を原則10年間として設定します。ただし、今回策定する計画については、公共施設計画の計画期間に合わせることで、平成29年度から令和8年度までの10年間とします。

また、個別施設計画の対象施設は、公共施設計画で分類された、市が保有する公共建築物及びインフラ資産（道路や橋りょう、上下水道など）とします。

1-4 【進行管理】

施設ごとの各種取組の推進に当たっては、関係機関や地域住民、利用者等と情報の共有を進め、公共施設マネジメントへの理解を深めるとともに、「大船渡市総合計画」や「大船渡市財政計画」等と連動させることにより、実効性を確保します。

個別施設計画の進行管理については、大船渡市総合計画実施計画の進行管理の中で、一体的に実施するものとします。

1-5 【推進体制】

個別施設計画に定める取組を効率的かつ効果的に推進するため、公共施設マネジメント関係課からなる公共施設マネジメント推進会議により、庁内の連携・協力体制の下、計画の進捗管理などのマネジメントを行っていきます。

また、施設ごとで情報を収集し、一元的なデータ管理と全庁的な情報の共有を図るとともに、既存の職員研修の機会を活用するなど、公共施設マネジメントの必要性への理解を深め、全庁的な課題として取組を進めます。

第2章 縮減目標及び今後の取組方針

2-1 【公共建築物に関する方針】

公共施設計画で算定した更新費用と投資可能見込額の試算結果から、推計期間である平成28年度から令和37年度までの40年間で、更新費用で264億円、施設面積で63,741㎡を縮減する必要があるとしていることから、計画期間である平成29年度から令和8年度までの10年間の縮減目標を次のとおり定めます。

【更新費用】	66億円縮減する
【施設面積】	15,950㎡縮減する

既存施設については、市民ニーズの変化を踏まえながら、施設の統合や機能の複合化、転用、廃止など公共施設の適正配置や既存施設の有効活用等について総合的に検討します。

新たに施設を整備する必要がある場合は、整備効果や将来発生する維持管理コストを考慮し、既存施設の複合化や用途変更など、既存施設の利活用の検討を踏まえることとします。

2-2 【インフラ資産に関する方針】

インフラ資産については、集約化・複合化等による対応が難しい場合が多いことから、適切な点検や診断を行うことにより、劣化や損傷状況等についてデータを集積し、限られた財源の中で、予防保全的な維持管理や長寿命化に取り組みます。

なお、上下水道は、市民生活を支える上で必要不可欠な基礎的インフラ資産であることから、廃止は行わないものとしませんが、上水道事業と簡易水道事業の統合、公共下水道施設への漁業集落排水施設の編入、施設維持管理の包括的民間委託の活用などの検討を進め、改築更新や維持管理費の削減と、事業管理の効率化を図ります。

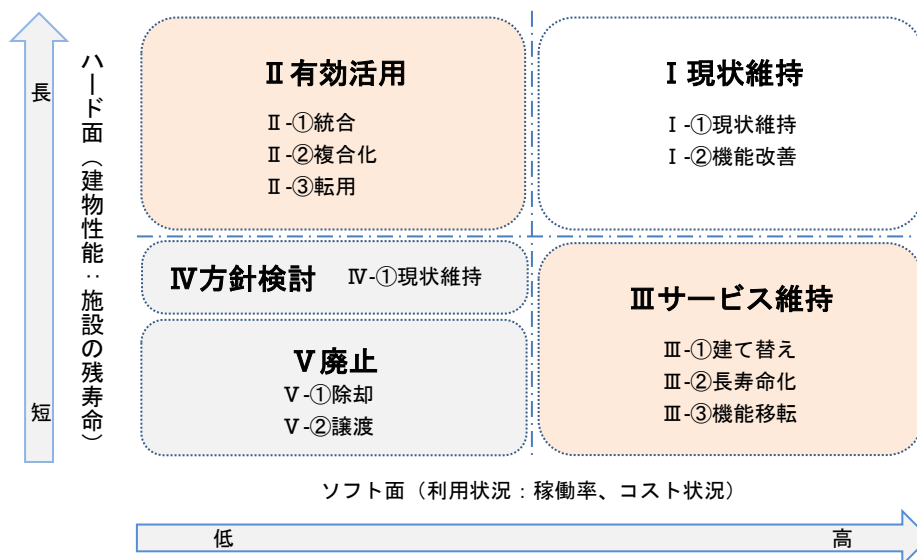
第3章 対策の優先順位の考え方（施設評価）

3-1 【施設保有量の適正化の検討】

(1) 2軸分析による分類

個別施設の状態（劣化・損傷の状況や要因等）のほか、当該施設が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等、対策を実施する際に考慮すべき事項を踏まえ、ハード面（施設が持つ建物性能：残寿命など）とソフト面（施設機能：稼働率やコスト）を評価指標とする2軸分析により五つの象限に分類します。

〔図2 2軸分析の分類イメージ〕



I 現状維持……………当面は建物性能を維持し、施設機能も継続する施設

II 有効活用……………建物性能は維持し、施設の統合や機能の複合化、転用等により施設の利用状況の向上を図る施設

III サービス維持…現状のサービスを維持するため、建て替えや長寿命化により、建物性能の向上を図る施設

IV 方針検討……………長期的には廃止や転用が検討されていることから、地域との合意が形成されるまで、新たに大規模な投資は行わない施設

V 廃止……………建物性能と利用状況の両面から今後の在り方を重点的に見直す必要がある施設

(2) 廃止や統合等の対象としない施設

次に示すような施設は、当面、廃止や統合等の対象とせず、現状維持あるいは長寿命化による維持管理・運営を実施していきます。

- 代替機能の確保が難しい施設（おおふなと斎苑や大船渡市防災センターなど）
- 土地開発時に一定の設置が義務付けられ、移転等が難しい施設（公園など）
- 市民生活に欠かすことができず、廃止できない施設（市役所本庁舎など）

3-2 【廃止施設・跡地利用の方針】

現在使用していない施設や、前章の今後の取組方針によって使用しないこととなる施設の有効活用について、以下の方針により取り組んでいきます。

- ① 現在の利用者や地域の意見を踏まえつつ、必要に応じてアンケートやワークショップ等を行い、従来の施設の用途を変更し、他の用途として使用することや、PFIなどのPPP手法や民間の技術・ノウハウ等の導入による有効活用など、最も効果的・効率的な手法を検討します。
- ② 用途を廃止する際は、地域活性化及び財源確保の観点から、民間事業者等への譲渡や売却などを検討します。
- ③ 有効活用が困難な場合は、施設の解体等の処分を進めます。

施設・敷地の一部であっても処分が可能と考えられる場合は、積極的に処分を検討します。

第4章 施設ごとの対応方針

4-1 【個別施設計画における事業費試算の考え方】

- ◆ 平成29年3月に策定した公共施設計画では、推計期間である平成28年度から令和37年度までの40年間を対象に、機械的に大規模改修や建て替えの時期を設定し、必要な事業費を試算しました。

個別施設計画の策定に当たっては、次に掲げることを基本とし、可能な限り年度間の費用負担の平準化と後年度負担の軽減を図ることについて検討しました。

〔表1 事業費試算の考え方の比較〕

公共施設計画	個別施設計画
<p>【事業費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画期間内に新たな施設整備は行わないことと仮定して、現有施設の建て替え及び大規模改修に要する費用について機械的に試算※して計上 	<p>【事業費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の現況等を考慮しながら、個別施設ごとに精査したものを計上（ただし、令和9年度以降は、公共施設計画と同じ計算式により試算して計上）
<p>【大規模改修、建て替えの時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修は、建物附属設備等の耐用年数がおおむね15年であることから、それらの設備等の2回目の改修時期である築30年に実施するものとして計上 ・建て替えは、日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方」により示されている耐用年数を使用し、築60年で建て替えるものとして計上 	<p>【大規模改修、建て替えの時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修、建て替えは、施設ごとに必要な時期に実施するものとして計上するが、既に築30年を経過している施設のうち、本計画期間内に大規模改修、建て替えを行わない施設は、次期計画期間（令和9年度～令和18年度）に実施するものとして調整 ・大規模改修を行わないまま、経過年数が51年以上となる施設は、大規模改修の実施を見送り、築60年となる年度に建て替えるものとして調整
<p>【災害復旧の取扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害復旧を行った施設についても、築年数で一律に試算して計上 	<p>【災害復旧の取扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害復旧を行った施設については、大規模な改修が行われたものとして、大規模改修の対象から除外

- ◆ リアスホールの水辺の芝生化や、スポーツ施設の駐車場やグラウンドの整備など、公共施設計画で対象外としていた外構や駐車場等の改修については、個別施設計画においても同様に対象外としました。
- ◆ 浄水場や漁業集落排水施設、浄化センターなどの上下水道施設については、「4-4 【インフラ施設の対応方針】」（83、84 ページ）として総括的に整理しました。

【※公共施設計画における更新費用の試算方法】

試算は、公共施設等更新費用試算ソフトの仕様書（平成 28 年度版）に記載されている方法、単価等を用いています。

- ①試算式……整備年度ごとの延床面積×更新単価
- ②更新単価

施設用途	大規模改修	建て替え
市民文化系施設	25 万円/m ²	40 万円/m ²
社会教育系施設	25 万円/m ²	40 万円/m ²
スポーツ・レクリエーション系施設	20 万円/m ²	36 万円/m ²
産業系施設	25 万円/m ²	40 万円/m ²
学校教育系施設	17 万円/m ²	33 万円/m ²
子育て支援施設	17 万円/m ²	33 万円/m ²
保健・福祉施設	20 万円/m ²	36 万円/m ²
医療施設	25 万円/m ²	40 万円/m ²
行政系施設	25 万円/m ²	40 万円/m ²
公営住宅	17 万円/m ²	28 万円/m ²
公園	17 万円/m ²	33 万円/m ²
その他	20 万円/m ²	36 万円/m ²

- ③更新期間……設計、施工期間を考慮し、次のとおり設定します。
 - ・建て替え……3 年間
 - ・大規模改修…2 年間

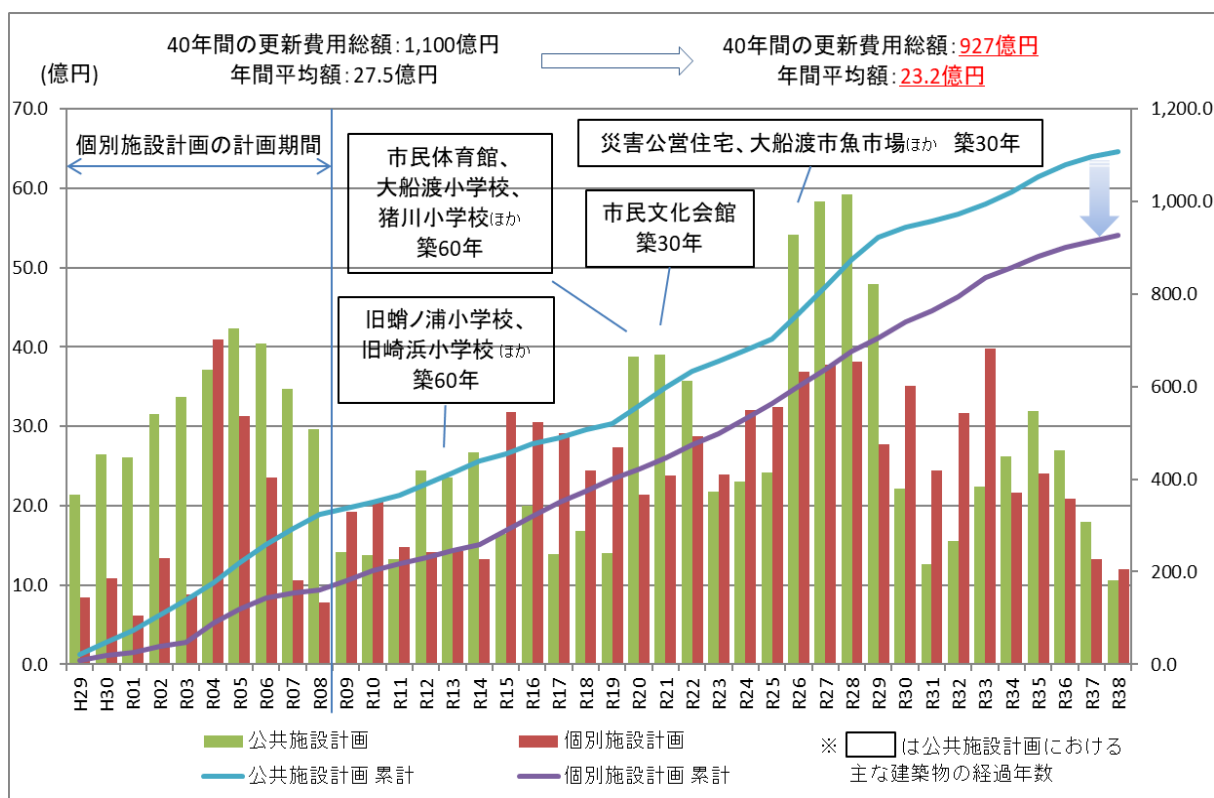
4-2 【公共建築物類型ごとの評価】

(1) 今後 40 年間ににおける整備費用の推移

個別施設計画掲載施設のうち、長期的には廃止もしくは用途変更が検討されている施設など、地域との合意形成等に時間を要する施設については、取扱方針が決定するまでの間、新たな投資は行わないこととし、5 ページの「図2 2軸分析の分類イメージ」の「IV方針検討」として整理することとしました。

「IV方針検討」を含め、4-1「個別施設計画における事業費試算の考え方」に基づき、平成 29 年度から令和 38 年度までの 40 年間にわたり、公共施設計画における建て替え及び大規模改修を対象とした場合と、適正化に係る検討・整理した結果（「IV方針検討」を除く）のそれぞれの年度別費用を比較すると、次のとおりとなりました。

〔図3 全体の費用の比較（事業費ベース）〕



本市では、復興事業により公共建築物が新たに整備されたことから、これらについてもおおむね築 30 年後には大規模改修を、また、築 60 年後には建て替えをそれぞれ集中的に実施せざるを得ないこととなり、長期的に、特定の時期に整備費用が大きく増加することが予想されます。

(2) 計画期間における事業費及び面積の増減

「IV方針検討」を含め、公共建築物全体の本計画期間における施設類型ごと及び2軸分析の分類ごとの事業費及び面積の増減は次のとおりとなりました。

〔表2 計画期間における事業費及び面積の増減〕

施設類型 ^{※1}	事業費(千円)			保有面積(m ²)		
	(公共施設計画) 試算ソフト	(個別施設計画) 計画登載	増減	基準 ^{※2}	(個別施設計画) R08見込	増減
市民文化系施設	2,647,198	1,644,483	△1,002,715	23,240	23,785	545
社会教育系施設	759,081	184,982	△574,099	4,869	4,510	△359
スポーツ・レクリエーション系施設	2,314,508	474,869	△1,839,639	16,486	16,466	△20
産業系施設	947,275	532,233	△415,042	27,504	25,934	△1,570
学校教育系施設	12,615,050	5,834,812	△6,780,238	98,604	93,885	△4,719
子育て支援施設	377,110	53,098	△324,012	4,827	3,122	△1,705
保健・福祉施設	1,053,620	512,120	△541,500	5,109	4,207	△902
医療施設	86,000	58,434	△27,566	1,162	1,162	0
行政系施設(庁舎等)	1,948,393	504,000	△1,444,393	8,526	8,624	98
行政系施設(消防・防災施設)	1,136,833	357,999	△778,834	9,056	7,198	△1,858
公営住宅	4,105,978	317,822	△3,788,156	61,303	56,963	△4,340
その他施設	879,638	345,009	△534,629	5,681	2,625	△3,056
公園施設	7,224	204,902	197,678	424	525	101
合計	28,877,908	11,024,763	△17,853,145	266,791	249,006	△17,785

※1 上下水道施設などインフラ資産を除く公共建築物

※2 防災観光交流センター完成後の保有量

〔表3 2軸分析の分類ごとの事業費及び面積〕

区分 ^{※1}	施設数	事業費(千円)			保有面積(m ²)			主な施設等
		(公共施設計画) 試算ソフト	(個別施設計画) 計画登載	増減	基準 ^{※2}	(個別施設計画) R08見込	増減	
I 現状維持	293	8,718,829	1,755,130	△6,963,699	144,587	146,556	1,969	地区公民館機能改善ほか
II 有効活用	4	0	322,548	322,548	2,311	3,070	759	旧越喜来小学校、漁村センター
III サービス維持	44	6,732,553	7,734,596	1,002,043	46,149	44,385	△1,764	第一中学校、大船渡中学校
V 廃止	64	4,941,383	1,162,692	△3,778,691	17,976	0	△17,976	旧大船渡消防署庁舎ほか
小計	405	20,392,765	10,974,966	△9,417,799	211,023	194,011	△17,012	
IV 方針検討	74	8,485,143	49,797	△8,435,346	55,768	54,995	△773	学校施設統廃合ほか
合計	479	28,877,908	11,024,763	△17,853,145	266,791	249,006	△17,785	

※1 上下水道施設などインフラ資産を除く公共建築物

※2 防災観光交流センター完成後の保有量

表3より、事業費については、調整の結果、66億円の削減目標に対し、**約94億円**の縮減（「IV方針検討」を除く）となり、保有面積については、15,950m²の削減目標に対し、**17,012m²**の縮減となりました。

今後、「IV方針検討」とした施設の取扱いが定まるにつれ、全体の事業費及び保有面積がどの程度増減するか不透明な状況ですが、施設の維持管理費用は、老朽化に伴い年々増加することが見込まれることから、年度間の費用負担の平準化と後年度負担の軽減に十分配慮し、健全な財政運営を堅持しながら、公共施設マネジメントを計画的に推進していきます。

4-3 【公共建築物の対応方針】

公共建築物は、「公共施設更新費用試算ソフト」に準拠し、以下の区分により分類します。

〔表 4 公共建築物の施設類型〕

大分類	中分類	施設名称例
(1) 市民文化系施設	集会施設	市民交流館カメラホール 公民館、集会所
	文化施設	市民文化会館
(2) 社会教育系施設	図書館	図書館
	博物館等	博物館
(3) スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	体育館
		野球場、グラウンド
		テニスコート、弓道場
	三陸B&G海洋センター	
レクリエーション施設・観光施設	観光センター	
	さんりく陶芸工房 鹿の森公園、ふれあいランド尾崎岬	
(4) 産業系施設	産業系施設	卸売市場、畜産施設、加工施設
		三陸ふるさと物産センター
		職業訓練センター
		シーバル大船渡
		勤労青少年ホーム、働く婦人の家 世界の橋館・基石
(5) 学校教育系施設	学校	小学校 中学校
	その他教育施設	給食センター
(6) 子育て支援施設	幼保・こども園	こども園
	幼児・児童施設	児童館 放課後児童クラブ
(7) 保健・福祉施設	保健・福祉施設	Y・Sセンター、保健介護センター
	高齢福祉施設	デイサービスセンター
	児童福祉施設	母子生活支援施設（つばき荘）
(8) 医療施設	医療施設	診療所
(9) 行政系施設（庁舎等）	庁舎等	市庁舎
		支所、地域振興出張所
		倉庫
(10) 行政系施設（消防・防災施設）	消防・防災施設	防災センター
		消防屯所
(11) 公営住宅	公営住宅	市営住宅
(12) その他施設	その他施設	鉄道施設
		斎場、墓園
		公衆トイレ
		職員住宅、医師住宅
(13) 公園施設	公園施設	東屋、トイレ

※上下水道施設は、4-4【インフラ資産の対応方針】に記載

一覧表における各用語等の定義は、次のとおりとします。

※建築年次：建物の建築年を記載しています。

（災害復旧した施設も、当初の建築年次で記載しています。）

※主体構造：以下の略称で表記しています。

S R C……鉄骨鉄筋コンクリート造

R C……鉄筋コンクリート造

S……鉄骨造

C B……コンクリートブロック造

F R P……FRP造

W……木造

※耐震基準：昭和56年以降の建築を新耐震基準として表記しています。

新耐震基準の建築物……「新」

旧耐震基準の建築物……「旧」

※方針：2軸分析の分類（5ページ図2）による方針を記載しています。

※対策内容：個別施設計画の計画期間を前半（平成29年度～令和3年度）と後半（令和4年度～令和8年度）に分け、主な事業と概算事業費を記載しています。

(1) 市民文化系施設

(1) 市民文化系施設

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期	
1	カメラアホール	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（機能改善）
		H11	S RC	1,222 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	利用者ニーズを把握し、サービスの工夫により利用促進を図る。					空調設置(済) (16百万円)
ハード	冷房設備設置、 <u>トイレ改修(洋式化)</u> 、照明LED化による機能改善を図る。						
2	大船渡地区公民館	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（機能改善）
		H5	S	1,011 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	地域住民の活動拠点として、今後も機能を維持する。					空調設置(済) 2階トイレ設置(済) (23百万円)
ハード	冷房設備設置、照明LED化による機能改善を図る。また、屋根改修による老朽化対策を行う。						
3	ふるさとセンター	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	Ⅲサービス維持（長寿命化）
		S55	RC	799 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	地域住民の活動拠点として、今後も機能を維持する。					-
ハード	屋根、外壁等の大規模改修により、長寿命化を図る。						
4	漁村センター	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	Ⅱ有効活用（複合化）
		S57	RC	585 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	集会施設としての機能を維持しつつ、 <u>一部防災学習館として使用する</u> 。					基本計画(済) 詳細設計(済) 施設改修等(済) (56百万円)
ハード	<u>令和3年度に防災学習館として使用するため、施設の一部を改修済み</u> 。						
5	赤崎地区公民館	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）
		R1	W	521 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	地域住民の活動拠点として、今後も機能を維持する。					-
ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						
6	蛸ノ浦漁村厚生施設	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	Ⅲサービス維持（長寿命化）
		H15	W	436 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	地域住民の活動拠点として、今後も機能を維持する。					-
ハード	屋根、外壁等の大規模改修により、長寿命化を図る。						
7	猪川地区公民館	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（機能改善）
		S55	RC	443 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	地域住民の活動拠点として、今後も機能を維持する。					=
ハード	冷房設備設置、照明LED化による機能改善を <u>検討する</u> 。						
8	猪川地区公民館 (ホール)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	Ⅲサービス維持（長寿命化）
		S55	S	467 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	地域住民の活動拠点として、今後も機能を維持する。					=
ハード	照明LED化による機能改善、屋根改修による長寿命化を <u>検討する</u> 。						
9	立根生活改善センター	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	Ⅲサービス維持（長寿命化）
		S49	W	339 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	地域住民の活動拠点として、今後も機能を維持する。					-
ハード	屋根、外壁等の大規模改修により、長寿命化を図る。						
10	日頃市地区公民館	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）
		S62	W	341 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	地域住民の活動拠点として、今後も機能を維持する。					=
ハード	必要に応じた修繕等を実施し、 <u>適正な維持管理を行う</u> 。						

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期		
11	綾里地区コミュニティ施設		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（機能改善）
			H22	S	933 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	地域住民の活動拠点として、今後も機能を維持する。					空調設置(済) (31百万円)	外壁改修 (15百万円)
ハード	空調設備設置による機能改善等を行う。							
12	三陸公民館		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（機能改善）
			S60	SRC	2,972 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	利用者ニーズを把握し、サービスの工夫により利用促進を図る。					-	照明LED化 (12百万円)
ハード	照明設備を更新し、機能改善を図る。							
13	吉浜地区拠点センター		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（機能改善）
			H6	S	880 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	地域住民の活動拠点として、今後も機能を維持する。					空調設置(済) (21百万円)	トイレ改修 照明LED化 (17百万円)
ハード	空調設置、トイレの洋式化、照明LED化等による機能改善を図る。							
14	碓石地区コミュニティセンター		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）
			H13	W	326 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	地域の団体により、今後も機能を維持する。					-	-
ハード	計画的な維持管理等に取り組むとともに、建設財源に係る処分制限期間を考慮しながら、将来の施設管理の在り方について地域と協議する。							
15	大洞ふれあい交流館		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）
			H27	W	139 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	地域の団体により、今後も機能を維持する。					-	-
ハード	計画的な維持管理等に取り組むとともに、建設財源に係る処分制限期間を考慮しながら、将来の施設管理の在り方について地域と協議する。							
16	森っこ・洞川原地区集会所		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）
			R1	W	121 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	地域の団体により、今後も機能を維持する。					-	-
ハード	計画的な維持管理等に取り組むとともに、建設財源に係る処分制限期間を考慮しながら、将来の施設管理の在り方について地域と協議する。							
17	永浜地区集会所		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）
			H29	W	130 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	地域の団体により、今後も機能を維持する。					-	-
ハード	計画的な維持管理等に取り組むとともに、建設財源に係る処分制限期間を考慮しながら、将来の施設管理の在り方について地域と協議する。							
18	清水地域防災コミュニティセンター		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）
			H29	W	124 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	地域の団体により、今後も機能を維持する。					-	-
ハード	計画的な維持管理等に取り組むとともに、建設財源に係る処分制限期間を考慮しながら、将来の施設管理の在り方について地域と協議する。							
19	担い手センター		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）
			S54	S	449 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	地域の団体により、今後も機能を維持する。					-	-
ハード	計画的な維持管理等に取り組むとともに、利用状況等に配慮しながら、今後の施設管理の在り方について地域と協議する。							
20	合足地域防災コミュニティセンター		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）
			H29	W	121 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	地域の団体により、今後も機能を維持する。					-	-
ハード	計画的な維持管理等に取り組むとともに、建設財源に係る処分制限期間を考慮しながら、将来の施設管理の在り方について地域と協議する。							

(1) 市民文化系施設

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期			
21	しんしん館		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
			H10	W	271 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域の団体により、今後も機能を維持する。							
	ハード	計画的な維持管理等に取り組むとともに、建設財源に係る処分制限期間を考慮しながら、将来の施設管理の在り方について地域と協議する。						-	-
22	平田地域多目的集会センター		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
			H6	W	163 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域の団体により、今後も機能を維持する。							
	ハード	計画的な維持管理等に取り組むとともに、利用状況等に配慮しながら、今後の施設管理の在り方について地域と協議する。						-	-
23	鷹生地域多目的集会センター		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
			H6	W	231 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域の団体により、今後も機能を維持する。							
	ハード	計画的な維持管理等に取り組むとともに、利用状況等に配慮しながら、今後の施設管理の在り方について地域と協議する。						-	-
24	鷹生川流域生活改善センター		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
			S54	W	198 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域の団体により、今後も機能を維持する。							
	ハード	計画的な維持管理等に取り組むとともに、利用状況等に配慮しながら、今後の施設管理の在り方について地域と協議する。						-	-
25	平山ふれあいセンター		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
			S61	W	120 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域の団体により、今後も機能を維持する。							
	ハード	計画的な維持管理等に取り組むとともに、利用状況等に配慮しながら、今後の施設管理の在り方について地域と協議する。						-	-
26	小通活性化施設		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
			H20	W	198 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域の団体により、今後も機能を維持する。							
	ハード	計画的な維持管理等に取り組むとともに、建設財源に係る処分制限期間を考慮しながら、将来の施設管理の在り方について地域と協議する。						-	-
27	板用多目的集会施設		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
			H1	W	152 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域の団体により、今後も機能を維持する。							
	ハード	計画的な維持管理等に取り組むとともに、利用状況等に配慮しながら、今後の施設管理の在り方について地域と協議する。						-	-
28	坂本沢林構改善センター		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
			S58	W	127 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域の団体により、今後も機能を維持する。							
	ハード	計画的な維持管理等に取り組むとともに、利用状況等に配慮しながら、今後の施設管理の在り方について地域と協議する。						-	-
29	石橋鑑剣舞伝承館		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
			H8	W	75 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域の団体により、今後も機能を維持する。							
	ハード	計画的な維持管理等に取り組むとともに、建設財源に係る処分制限期間を考慮しながら、将来の施設管理の在り方について地域と協議する。						-	-
30	田浜地域防災コミュニティセンター		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
			H28	W	106 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域の団体により、今後も機能を維持する。							
	ハード	計画的な維持管理等に取り組むとともに、建設財源に係る処分制限期間を考慮しながら、将来の施設管理の在り方について地域と協議する。						-	-

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期			
31	野形郷土文化保存伝習施設		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
			H9	W	261 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域の団体により、今後も機能を維持する。							
	ハード	計画的な維持管理等に取り組むとともに、建設財源に係る処分制限期間を考慮しながら、将来の施設管理の在り方について地域と協議する。						-	-
32	宮野地区活動センター		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
			S59	R C	361 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域の団体により、今後も機能を維持する。							
	ハード	計画的な維持管理等に取り組むとともに、利用状況等に配慮しながら、今後の施設管理の在り方について地域と協議する。						-	-
33	宮野地区多目的集会施設		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
			S58	S	299 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域の団体により、今後も機能を維持する。							
	ハード	計画的な維持管理等に取り組むとともに、利用状況等に配慮しながら、今後の施設管理の在り方について地域と協議する。						-	-
34	野々前しおさい会館		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
			H7	W	238 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域の団体により、今後も機能を維持する。							
	ハード	計画的な維持管理等に取り組むとともに、建設財源に係る処分制限期間を考慮しながら、将来の施設管理の在り方について地域と協議する。						-	-
35	砂子浜生活改善センター		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
			S55	W	136 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域の団体により、今後も機能を維持する。							
	ハード	計画的な維持管理等に取り組むとともに、利用状況等に配慮しながら、今後の施設管理の在り方について地域と協議する。						-	-
36	南嶺地域防災コミュニティセンター		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
			H28	W	258 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域の団体により、今後も機能を維持する。							
	ハード	計画的な維持管理等に取り組むとともに、建設財源に係る処分制限期間を考慮しながら、将来の施設管理の在り方について地域と協議する。						-	-
37	上南嶺研修集会施設		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
			S58	W	146 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域の団体により、今後も機能を維持する。							
	ハード	計画的な維持管理等に取り組むとともに、利用状況等に配慮しながら、今後の施設管理の在り方について地域と協議する。						-	-
38	扇洞会館		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
			H10	W	211 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域の団体により、今後も機能を維持する。							
	ハード	計画的な維持管理等に取り組むとともに、建設財源に係る処分制限期間を考慮しながら、将来の施設管理の在り方について地域と協議する。						-	-
39	市民文化会館		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	Ⅲ サービス維持（長寿命化）	
			H20	R C	7,875 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	サービスの工夫により利用促進を図りつつ、令和6年度からの指定管理者制度の導入に向けた検討を進める。						外壁修繕(済)	空調設備更新
	ハード	計画的な修繕や設備更新等に取り組むとともに、長期的、総合的に施設の維持管理を図る。						空調設備更新(済)	音響設備更新
								音響設備更新(済)	舞台設備更新
								(135百万円)	(1,190百万円)

(2) 社会教育系施設

(2) 社会教育系施設

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期		
1	図書館	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
		H20	RC	1,415 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	令和4年度から指定管理者制度を導入しており、引き続き効率的な運営を図る。					外壁修繕(済)	空調設備更新
	ハード	計画的な修繕や設備更新等に取り組むとともに、長期的、総合的に施設の維持管理を図る。					空調設備更新(済)	音響設備更新
							音響設備更新(済)	舞台設備更新
							((1)No.39に含む)	((1)No.39に含む)
2	博物館	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（機能改善）	
		S57	RC	2,058 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	利用者ニーズを把握し、サービスの工夫により利用促進を図る。					空調設置(済)	館改修設計
	ハード	予防保全的な維持管理を進めながら、施設の長寿命化を図る。					照明LED化(済)	常設展示改修館改修
							エレベーター改修(済)	展示改修設計
							(79百万円)	(80百万円)
3	文化財収蔵庫 (赤沢)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	Ⅲ サービス維持（機能移転）	
		S40	RC	132 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	用途変更する施設に機能を移転、集約する。					-	-
	ハード	老朽化が進んでいることから、用途変更する施設に機能を移転、集約し、現施設は解体する方向で検討を進める。					-	-
4	埋蔵文化財収蔵施設 (黒土田)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
		H24	軽量鉄骨	301 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	文化財を収蔵するための施設として、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-
5	民俗資料保管庫 (平館)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
		H10	W	93 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	民俗資料を保管するための施設として、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-
6	綾里倉庫（旧綾里地域振興出張所） (整理室)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	Ⅲ サービス維持（機能移転）	
		S47	RC	478 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	用途変更する施設に機能（作業及び収蔵スペース）を移転、集約する。					-	-
	ハード	老朽化が進んでいることから、施設を解体する方向で検討を進める。					-	-
7	綾里倉庫（旧綾里地域振興出張所倉庫）	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	Ⅲ サービス維持（機能移転）	
		不明	W	33 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	用途変更する施設に機能（作業及び収蔵スペース）を移転、集約する。					-	-
	ハード	老朽化が進んでいることから、施設を解体する方向で検討を進める。					-	-
8	吉浜倉庫（旧吉浜地区公民館） (整理室)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	Ⅲ サービス維持（機能移転）	
		S49	RC	359 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	用途変更する施設に機能（収蔵スペース）を移転、集約する。					-	解体
	ハード	老朽化が進んでいることから、施設を解体する。					-	(26百万円)

(3) スポーツ・レクリエーション系施設

(3) スポーツ・レクリエーション系施設

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期		
1	体育センター (施設管理事務所)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	Ⅲサービス維持 (長寿命化)	
		S51	RC	326 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	体育施設の管理拠点施設として、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	施設の機能を維持するため、耐震診断を実施し、その結果を受けて施設の方向性を検討していく。					-	-
2	体育センター (倉庫)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V廃止 (除却)	
		S55	W	69 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	既に別の倉庫に機能を移転している。					解体(済) (1百万円)	-
	ハード	老朽化に伴い、令和元年9月に建物を解体した。					-	-
3	体育センター (倉庫)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H24	軽量鉄骨	168 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	体育センターの附属施設として、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。					-	-
4	市民体育館	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	Ⅲサービス維持 (長寿命化)	
		S53	SRC	3,878 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	利用者ニーズを把握し、サービスの工夫により利用促進を図る。					外壁修繕(済) (12百万円)	空調設備改修 屋根修繕 (144百万円)
	ハード	屋根、外壁等の大規模改修により、長寿命化を図るとともに、利用者へのニーズに対応した機能充実を図る。					-	-
5	市営球場	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討 (現状維持)	
		S39	RC	m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	利用者ニーズを把握し、サービスの工夫により利用促進を図る。					観客席等改修(済) スポーツド改修(済)	-
	ハード	平成29、30年度に施設の一部を修繕した。当面の間、現状のサービスを維持しつつ、施設の再整備について多角的に検討する。					安全対策(済) (43百万円)	-
6	テニスコート (更衣室)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		S60	S	64 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	利用者ニーズを把握し、サービスの工夫により利用促進を図る。					照明LED化(済) (12百万円)	拡張設計 拡張工事 (114百万円)
	ハード	テニスコートの拡張に対応し、計画的な維持管理に取り組む。					-	-
7	弓道場	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		S57	S	261 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	利用者ニーズを把握し、サービスの工夫により利用促進を図る。					-	-
	ハード	計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。					-	-
8	田中島グラウンド (倉庫)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		S62	軽量鉄骨	15 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	グラウンドの附属施設として、今後も機能を維持する。					-	フェンス等撤去 (2百万円)
	ハード	利用者ニーズの高いテニスコートへの転用に対応し、計画的な維持管理に取り組む。					-	-
9	田中島グラウンド (トイレ)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		S62	CB	22 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	グラウンドの附属施設として、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	利用者ニーズの高いテニスコートへの転用に対応し、計画的な維持管理に取り組む。					-	-
10	赤崎グラウンド (クラブハウス)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H30	S	175 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	利用者ニーズを把握し、サービスの工夫により利用促進を図る。					照明LED化(済) (27百万円)	-
	ハード	計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。					-	-

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期		
	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）		
11	赤崎グラウンド （トイレ）	H25	W	24 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	赤崎グラウンドの附属施設として、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。					-	-
12	三陸体育館	S50	RC	992 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	利用者ニーズを把握し、サービスの工夫により利用促進を図る。					-	-
	ハード	機能確保のため、耐震診断等を実施し、スポーツ施設として施設の維持に努める。					-	-
13	三陸総合運動公園 （屋外トイレ）	H3	CB	m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					トイレ改修(済) (42百万円)	-
	ハード	多目的運動場であり、今後長年にわたる利用が見込めることから、利便性向上のため、令和2年度にトイレを水洗式に更新済み。					-	-
14	B&G 海洋センター	H2	RC	2,704 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	利用者ニーズを把握し、サービスの工夫により利用促進を図る。					設備更新(済) 照明LED化(済) トイレ改修(済) (10百万円)	-
	ハード	スポーツ・レクリエーション活動の拠点の一つであることから、今後も必要な設備更新に計画的に取り組む。なお、プールについては、解体に向けた取組を進める。					-	-
15	山村広場 （倉庫）	S60	W	93 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	山村広場の附属施設として、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	必要な維持管理・保全に努めつつ、市営球場の再整備を検討する中で、廃止も検討していく。					-	-
16	山村広場 （揚水場）	S60	RC	7 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	山村広場の附属施設として、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	必要な維持管理・保全に努めつつ、市営球場の再整備を検討する中で、廃止も検討していく。					-	-
17	防災観光交流センター	H30	RC	3,201 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	利用者ニーズを把握し、サービスの工夫により利用促進を図る。					-	-
	ハード	計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。					-	-
18	三陸観光センター	H6	W	90 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	利用者ニーズを把握し、サービスの工夫により利用促進を図る。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-
19	通岡展望地 （休憩舎）	不明	RC	33 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	現在及び今後の利用状況を踏まえ、用途を廃止する。					-	解体 (9百万円)
	ハード	老朽化に伴い、建物を解体する。					-	-
20	通岡展望地さわやかトイレ	H7	W	30 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	現在及び今後の利用状況を踏まえ、用途を廃止する。					-	解体 (3百万円)
	ハード	老朽化に伴い、建物を解体する。					-	-

(3) スポーツ・レクリエーション系施設

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期	
21	今出山観光用地 (休憩舎)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)
		S58	W	46 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	現在及び今後の利用状況を踏まえ、用途を廃止する。					-
ハード	老朽化に伴い、建物を解体する。						
22	今出山観光用地 (トイレ)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)
		不明	W	11 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	現在及び今後の利用状況を踏まえ、用途を廃止する。					-
ハード	老朽化に伴い、建物を解体する。						
23	五葉山避難小屋	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
		H30	W	53 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	五葉山の避難小屋として、今後も機能を維持する。					-
ハード	平成30年度に建て替えを行い、建て替え後は釜石市が所有している。						
24	五葉山避難小屋 (トイレ)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
		不明	S	8 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	五葉山の避難小屋トイレとして、今後も機能を維持する。					-
ハード	平成30年度に大規模改修実施した。今後、五葉山自然保護協議会において避難小屋と一体的に釜石市が管理することで協議を行う。						
25	五葉山大沢小屋 (休憩舎)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV 方針検討 (規模適正化)
		不明	S	19 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	五葉山の休憩舎として、今後も機能を維持する。					-
ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						
26	赤坂峠トイレ	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
		H6	RC	26 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	赤坂峠のトイレとして、今後も機能を維持する。					-
ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						
27	赤坂峠水飲場	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
		H5	S	5 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	赤坂峠の水飲場として、今後も機能を維持する。					-
ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						
28	碓石海岸レストハウス	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (機能改善)
		S48	RC	1,062 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	利用者ニーズを把握し、サービスの工夫により利用促進を図る。					施設機能強化 (済) (43百万円)
ハード	計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。						
29	碓石岬東屋 (東屋)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
		H16	W	7 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	観光施設の一部として、今後も機能を維持する。					-
ハード	定期的に状態を監視し、適正な維持管理を行う。						
30	碓石浜トイレ	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
		不明	W	6 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	観光施設の一部として、今後も機能を維持する。					-
ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期		
31	穴通磯休憩舎 (東屋)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		S63	W	16 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	観光施設の一部として、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	定期的に状態を監視し、適正な維持管理を行う。					-	-
32	千丸海岸トイレ (浄化槽)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)	
		不明	RC	m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	被災により既に用途を廃止している。					解体(済) (1百万円)	-
	ハード	被災した建物の浄化槽を令和2年度に撤去・解体済み。					-	-
33	長崎海岸トイレ (浄化槽)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)	
		不明	RC	m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	被災により既に用途を廃止している。					解体(済) (1百万円)	-
	ハード	被災した建物の浄化槽を令和3年度に撤去・解体済み。					-	-
34	綾里海水浴場シャワー室・トイレ	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		R1	W	60 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	利用者ニーズを把握し、サービスの工夫により利用促進を図る。					-	-
	ハード	計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。					-	-
35	越喜来浪板海水浴場シャワー室・トイレ	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H30	W	52 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	利用者ニーズを把握し、サービスの工夫により利用促進を図る。					-	-
	ハード	計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。					-	-
36	吉浜海水浴場シャワー室・トイレ	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H30	W	74 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	利用者ニーズを把握し、サービスの工夫により利用促進を図る。					-	-
	ハード	計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。					-	-
37	千歳園地トイレ	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)	
		不明	CB	8 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	現在及び今後の利用状況を踏まえ、用途を廃止する。					-	解体 (1百万円)
	ハード	老朽化に伴い、建物を解体する。					-	-
38	千歳園地トイレ	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)	
		不明	CB	8 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	現在及び今後の利用状況を踏まえ、用途を廃止する。					-	解体 (1百万円)
	ハード	老朽化に伴い、建物を解体する。					-	-
39	さんりく陶芸工房	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討 (現状維持)	
		H11	W	73 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	現在のサービスを当面維持する。					水道管布設(済) (1百万円)	-
	ハード	施設の用途廃止や利用団体への私下げなど、廃止に向けて検討する。					-	-
40	鹿の森公園 (森林体験交流センター) (本館：夏虫のお湯っこ)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H12	W	749 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	収入の増加に向けて近隣施設等との連携強化に努める。					-	-
	ハード	計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。					-	-

(3) スポーツ・レクリエーション系施設

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期		
41	鹿の森公園（森林体験交流センター） （管理事務所）	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
		H1	W	39 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	収入の増加に向けて近隣施設等との連携強化に努める。					-	-
	ハード	計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。					-	-
42	鹿の森公園（森林体験交流センター） （簡易作業施設）	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
		H14	W	30 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	収入の増加に向けて近隣施設等との連携強化に努める。					-	-
	ハード	計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。					-	-
43	鹿の森公園（森林体験交流センター） （小規模作業施設）	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
		H14	W	40 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	収入の増加に向けて近隣施設等との連携強化に努める。					-	-
	ハード	計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。					-	-
44	鹿の森公園（森林体験交流センター） （総合案内休養施設：遊 You 亭）	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
		H4	W	698 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	収入の増加に向けて近隣施設等との連携強化に努める。					-	-
	ハード	計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。					-	-
45	鹿の森公園（森林体験交流センター） （コテージA）	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
		H6	W	199 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	収入の増加に向けて近隣施設等との連携強化に努める。					-	-
	ハード	計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。					-	-
46	鹿の森公園（森林体験交流センター） （バンガローA）	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
		H3	W	132 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	収入の増加に向けて近隣施設等との連携強化に努める。					-	-
	ハード	計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。					-	-
47	鹿の森公園（森林体験交流センター） （トイレ）	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
		H1	W	18 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	収入の増加に向けて近隣施設等との連携強化に努める。					-	-
	ハード	計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。					-	-
48	フレアイランド尾崎岬 （総合案内施設）	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
		H3	W	365 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	収入の増加に向けて近隣施設等との連携強化に努める。					-	-
	ハード	計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。					-	-
49	フレアイランド尾崎岬 （休憩施設）	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
		H3	W	7 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	収入の増加に向けて近隣施設等との連携強化に努める。					-	-
	ハード	計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。					-	-
50	フレアイランド尾崎岬 （倉庫）	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
		H9	W	19 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	収入の増加に向けて近隣施設等との連携強化に努める。					-	-
	ハード	計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。					-	-

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期		
51	フレアイランド尾崎岬 (コテージ)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H9	W	270 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	収入の増加に向けて近隣施設等との連携強化に努める。					-	-
	ハード	計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。					-	-
52	フレアイランド尾崎岬 (バンガロー：磯小)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H7	W	29 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	収入の増加に向けて近隣施設等との連携強化に努める。					-	-
	ハード	計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。					-	-
53	フレアイランド尾崎岬 (バンガロー：羽衣)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H7	W	29 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	収入の増加に向けて近隣施設等との連携強化に努める。					-	-
	ハード	計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。					-	-
54	フレアイランド尾崎岬 (バンガロー)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H2	W	174 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	収入の増加に向けて近隣施設等との連携強化に努める。					-	-
	ハード	計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。					-	-
55	フレアイランド尾崎岬 (バーベキューハウス)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H2	W	31 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	収入の増加に向けて近隣施設等との連携強化に努める。					-	-
	ハード	計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。					-	-
56	フレアイランド尾崎岬 (バーベキューハウス)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H3	W	42 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	収入の増加に向けて近隣施設等との連携強化に努める。					-	-
	ハード	計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。					-	-
57	フレアイランド尾崎岬 (洗い場)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H2	W	9 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	収入の増加に向けて近隣施設等との連携強化に努める。					-	-
	ハード	計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。					-	-
58	フレアイランド尾崎岬 (炊事施設)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H2	W	33 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	収入の増加に向けて近隣施設等との連携強化に努める。					-	-
	ハード	計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。					-	-
59	フレアイランド尾崎岬 (トイレ)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H7	W	21 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	収入の増加に向けて近隣施設等との連携強化に努める。					-	-
	ハード	計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。					-	-
60	フレアイランド尾崎岬 (トイレ)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H2	W	52 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	収入の増加に向けて近隣施設等との連携強化に努める。					-	-
	ハード	計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。					-	-

(4) 産業系施設

(4) 産業系施設

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期	
1	畜産施設(小出) (機械庫)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)
		S60	W	2 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	現在及び今後の利用状況を踏まえ、用途を廃止する。					-
ハード	老朽化に伴い、建物を解体する。						
2	畜産施設(小出) (堆肥室)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)
		S54	W	41 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	現在及び今後の利用状況を踏まえ、用途を廃止する。					-
ハード	老朽化に伴い、建物を解体する。						
3	畜産施設(小出) (監視室)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)
		S60	C B	42 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	現在及び今後の利用状況を踏まえ、用途を廃止する。					-
ハード	老朽化に伴い、建物を解体する。						
4	畜産施設(小出) (乾燥室)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)
		S60	S	124 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	現在及び今後の利用状況を踏まえ、用途を廃止する。					-
ハード	老朽化に伴い、建物を解体する。						
5	畜産施設(小出) (畜舎)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)
		S60	S	66 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	現在及び今後の利用状況を踏まえ、用途を廃止する。					-
ハード	老朽化に伴い、建物を解体する。						
6	畜産施設(小出) (畜舎)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)
		S54	W	165 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	現在及び今後の利用状況を踏まえ、用途を廃止する。					-
ハード	老朽化に伴い、建物を解体する。						
7	畜産施設(小出) (倉庫)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)
		S60	S	182 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	現在及び今後の利用状況を踏まえ、用途を廃止する。					-
ハード	老朽化に伴い、建物を解体する。						
8	畜産施設(平根) (機械室)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)
		S60	W	6 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	現在及び今後の利用状況を踏まえ、用途を廃止する。					-
ハード	老朽化に伴い、建物を解体する。						
9	畜産施設(平根) (監視室)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)
		S60	C B	42 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	現在及び今後の利用状況を踏まえ、用途を廃止する。					-
ハード	老朽化に伴い、建物を解体する。						
10	畜産施設(平根) (乾燥室)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)
		S60	W	9 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	現在及び今後の利用状況を踏まえ、用途を廃止する。					-
ハード	老朽化に伴い、建物を解体する。						

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期		
11	畜産施設(平根) (畜舎)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)
			S60	S	76 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	現在及び今後の利用状況を踏まえ、用途を廃止する。					-	解体 (1 百万円)
ハード	老朽化に伴い、建物を解体する。							
12	農産物加工処理施設 (食肉処理場)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)
			H3	W	38 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	現在及び今後の利用状況を踏まえ、用途を廃止する。					-	解体 (2 百万円)
ハード	老朽化に伴い、建物を解体する。							
13	鹿の森公園 (地域特産品加工施設) (ハム工房)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
			H3	W	108 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	利用者ニーズを把握し、サービスの工夫により利用促進を図る。					-	-
ハード	計画的な維持管理に取り組みつつ、今後の利用状況を踏まえ、存廃について検討する。							
14	鹿の森公園 (地域特産品生産施設)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
			S63	W	246 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	利用者ニーズを把握し、サービスの工夫により利用促進を図る。					-	-
ハード	計画的な維持管理に取り組みつつ、今後の利用状況を踏まえ、存廃について検討する。							
15	総合交流ターミナル施設 (世界の櫓館・碁石)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	Ⅲ サービス維持 (長寿命化)
			H9	S	1,367 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	利用者ニーズを把握し、サービスの工夫により利用促進を図る。					屋根改修等(済) ガス温室整備等(済) (80 百万円)	-
ハード	老朽化対策のため、令和2年度に屋根改修済み。							
16	綾里地区生産物直売所		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)
			S62	W	261 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	現在及び今後の利用状況を踏まえ、用途を廃止する。					-	解体 (30 百万円)
ハード	用途廃止後の取扱いについて、存廃も含めて施設の在り方を地域と協議する。							
17	三陸ふるさと物産センター (体験施設)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	Ⅲ サービス維持 (長寿命化)
			H12	S	615 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	利用者ニーズを把握し、サービスの工夫により利用促進を図る。					看板改修(済) 照明 LED 化(済) 空調設置等(済) (29 百万円)	設備更新 (18 百万円)
ハード	長寿命化のため、各設備を更新する。							
18	三陸ふるさと物産センター (トイレ)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
			H30	S	93 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	利用者ニーズを把握し、サービスの工夫により利用促進を図る。					建て替え(済) (136 百万円)	-
ハード	平成30年度に建て替えを行った。今後は、必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。							
19	三陸蕃養センター (蕃養施設)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	Ⅲ サービス維持 (長寿命化)
			H28	W	75 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	利用者ニーズを把握し、サービスの工夫により利用促進を図る。					-	設備更新 (2 百万円)
ハード	計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。							
20	大船渡市魚市場		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (機能改善)
			H26	RC	16,426 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	利用者ニーズを把握し、サービスの工夫により利用促進を図る。					設備更新(済) (31 百万円)	設備更新 (66 百万円)
ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。							

(4) 産業系施設

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期			
21	大船渡市魚市場 (南側岸壁上屋)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
			H28	S	2,402 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	利用者ニーズを把握し、サービスの工夫により利用促進を図る。					-	-	
		ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-
22	大船渡市魚市場 (スクリーン棟)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
			H26	RC	58 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地方卸売市場としての機能を維持するよう安全かつ衛生的な利用に努める。					-	-	
		ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-
23	大船渡市魚市場 (ポンプ室)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
			H17	RC	8 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地方卸売市場としての機能を維持するよう安全かつ衛生的な利用に努める。					-	-	
		ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-
24	大船渡市製氷施設 (製氷施設)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (機能改善)	
			H26	RC	282 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地方卸売市場としての機能を維持するよう安全かつ衛生的な利用に努める。					設備更新(済) (15百万円)	設備更新 (39百万円)	
		ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-
25	大船渡職業訓練センター		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
			S63	W	328 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	利用者ニーズを把握し、サービスの工夫により利用促進を図る。					-	トイレ改修 照明LED化 (6百万円)	
		ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-
26	大船渡職業訓練センター (増築棟)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
			H27	S	420 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	利用者ニーズを把握し、サービスの工夫により利用促進を図る。					-	照明LED化 (4百万円)	
		ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-
27	勤労青少年ホーム		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)	
			S47	RC	609 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	余暇活動の多様化や若年者の意識が変化しており、施設としての一定の役割を果たしたことから、用途を廃止している。					解体(済) (49百万円)	-	
		ハード	新耐震基準を満たしていないことから、令和2年度に建物を解体済み。					-	-
28	大船渡市働く婦人の家		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	Ⅲ サービス維持 (長寿命化)	
			H3	S	801 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	利用者ニーズを把握し、サービスの工夫により利用促進を図る。					-	照明LED化 (6百万円)	
		ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-
29	シーバル大船渡		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
			H3	RC	643 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	利用者ニーズを把握し、サービスの工夫により利用促進を図る。					-	-	
		ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-
30	大船渡港コンテナ用上屋倉庫		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
			H29	S	2,062 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	港湾物流に必要な施設であり、今後も機能を維持する。					-	-	
		ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-

(5) 学校教育系施設

(5) 学校教育系施設

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期		
1	盛小学校 (校舎)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H22	RC	3,642 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	予防保全に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-
2	盛小学校 (屋内運動場)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	III サービス維持 (建て替え)	
		S48	S	982 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	建て替え後は、予防保全に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。					-	設計 (31 百万円)
	ハード	老朽化に伴い、建て替えを行う。					-	-
3	盛小学校 (倉庫)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)	
		S42	W	20 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	予防保全に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。					解体(済) (1 百万円)	-
	ハード	令和3年度に建物を解体済み。					-	-
4	盛小学校 (プール附属室：更衣室)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	III サービス維持 (長寿命化)	
		S45	W	15 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	長寿命化に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。					-	床張替え (15 百万円)
	ハード	床の更新により長寿命化を図る					-	-
5	盛小学校 (プール附属室：トイレ)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H25	S	15 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	長寿命化に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-
6	盛小学校 (プール機械室)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	III サービス維持 (長寿命化)	
		H8	W	14 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	長寿命化に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。					-	ろ過機更新 (No.4 に含む)
	ハード	設備更新により長寿命化を図る					-	-
7	大船渡小学校 (校舎)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV 方針検討 (現状維持)	
		S53	RC	4,026 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域との合意形成を図りながら、適正な学校施設の配置を目指す。					-	-
	ハード	大船渡北小学校と統合対象であることから、統合の方針が決定するまで現状を維持する。					-	-
8	大船渡小学校 (校舎)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV 方針検討 (現状維持)	
		H10	RC	817 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域との合意形成を図りながら、適正な学校施設の配置を目指す。					-	-
	ハード	大船渡北小学校と統合対象であることから、統合の方針が決定するまで現状を維持する。					-	-
9	大船渡小学校 (屋内運動場)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV 方針検討 (現状維持)	
		H19	S	1,116 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域との合意形成を図りながら、適正な学校施設の配置を目指す。					-	-
	ハード	大船渡北小学校と統合対象であることから、統合の方針が決定するまで現状を維持する。					-	-
10	大船渡小学校 (倉庫)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV 方針検討 (現状維持)	
		S53	S	169 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域との合意形成を図りながら、適正な学校施設の配置を目指す。					-	-
	ハード	大船渡北小学校と統合対象であることから、統合の方針が決定するまで現状を維持する。					-	-

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期			
11	大船渡小学校 (プール機械室)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討(現状維持)	
			H15	W	54㎡	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域との合意形成を図りながら、適正な学校施設の配置を目指す。						-	-
12	末崎小学校 (校舎)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討(現状維持)	
			S47	RC	2,316㎡	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域との合意形成を図りながら、適正な学校施設の配置を目指す。						-	-
13	末崎小学校 (校舎)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討(現状維持)	
			S47	RC	2,101㎡	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域との合意形成を図りながら、適正な学校施設の配置を目指す。						-	-
14	末崎小学校 (屋内運動場)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討(現状維持)	
			H15	S	1,104㎡	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域との合意形成を図りながら、適正な学校施設の配置を目指す。						-	-
15	末崎小学校 (倉庫)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討(現状維持)	
			S48	S	133㎡	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域との合意形成を図りながら、適正な学校施設の配置を目指す。						-	-
16	末崎小学校 (倉庫)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討(現状維持)	
			S47	W	61㎡	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域との合意形成を図りながら、適正な学校施設の配置を目指す。						-	-
17	末崎小学校 (プール附属室)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討(現状維持)	
			S47	S	36㎡	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域との合意形成を図りながら、適正な学校施設の配置を目指す。						-	-
18	赤崎小学校 (校舎)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I現状維持(現状維持)	
			H29	RC	3,287㎡	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	予防保全に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。						-	-
19	赤崎小学校 (屋内運動場)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I現状維持(現状維持)	
			H29	RC	946㎡	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	予防保全に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。						-	-
20	赤崎小学校 (クラブ室)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I現状維持(現状維持)	
			H29	RC	206㎡	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	予防保全に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。						-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						-	-

(5) 学校教育系施設

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期		
21	赤崎小学校 (防災備蓄倉庫)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H29	RC	33 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	予防保全に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-
22	赤崎小学校 (プール附属室)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H29	RC	93 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	予防保全に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-
23	猪川小学校 (校舎)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		S54	RC	3,695 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	予防保全に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-
24	猪川小学校 (校舎)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		S56	RC	334 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	予防保全に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-
25	猪川小学校 (屋内運動場)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	Ⅲサービス維持 (長寿命化)	
		S51	S	938 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	長寿命化に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。					屋根等改修(済) (24百万円)	-
	ハード	屋根、外壁等の大規模改修により、長寿命化を図る。					-	-
26	猪川小学校 (配膳室)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		S54	RC	151 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	予防保全に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-
27	猪川小学校 (プール専用機械室)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		S52	S	14 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	予防保全に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-
28	立根小学校 (校舎)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H3	RC	3,542 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	予防保全に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-
29	立根小学校 (屋内運動場)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H5	S	1,336 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	予防保全に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-
30	立根小学校 (倉庫)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		不明	S	134 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	予防保全に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期		
31	立根小学校 (プール附属室)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H5	W	61 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	予防保全に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-
32	日頃市小学校 (校舎)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討 (現状維持)	
		S55	R C	2,398 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域との合意形成を図りながら、適正な学校施設の配置を目指す。					上水道施設引込 (済)	-
	ハード	統合の方針が決定するまで現状を維持する。					(5百万円)	-
33	日頃市小学校 (校舎)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討 (現状維持)	
		S42	S	206 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域との合意形成を図りながら、適正な学校施設の配置を目指す。					上水道施設引込 (済)	-
	ハード	統合の方針が決定するまで現状を維持する。					(No.32 に含む)	-
34	日頃市小学校 (校舎)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討 (現状維持)	
		H17	S	18 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域との合意形成を図りながら、適正な学校施設の配置を目指す。					上水道施設引込 (済)	-
	ハード	統合の方針が決定するまで現状を維持する。					(No.32 に含む)	-
35	日頃市小学校 (屋内運動場)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討 (現状維持)	
		S55	S	700 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域との合意形成を図りながら、適正な学校施設の配置を目指す。					-	-
	ハード	統合の方針が決定するまで現状を維持する。					-	-
36	日頃市小学校 (物置)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討 (現状維持)	
		S55	W	50 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域との合意形成を図りながら、適正な学校施設の配置を目指す。					-	-
	ハード	統合の方針が決定するまで現状を維持する。					-	-
37	大船渡北小学校 (校舎)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討 (現状維持)	
		S49	R C	4,639 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域との合意形成を図りながら、適正な学校施設の配置を目指す。					-	-
	ハード	大船渡小学校と統合対象であることから、統合の方針が決定するまで現状を維持する。					-	-
38	大船渡北小学校 (校舎)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討 (現状維持)	
		S51	R C	1,169 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域との合意形成を図りながら、適正な学校施設の配置を目指す。					-	-
	ハード	大船渡小学校と統合対象であることから、統合の方針が決定するまで現状を維持する。					-	-
39	大船渡北小学校 (屋内運動場)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討 (現状維持)	
		S51	S	1,129 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域との合意形成を図りながら、適正な学校施設の配置を目指す。					-	-
	ハード	大船渡小学校と統合対象であることから、統合の方針が決定するまで現状を維持する。					-	-
40	大船渡北小学校 (プール附属室)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討 (現状維持)	
		S51	W	50 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域との合意形成を図りながら、適正な学校施設の配置を目指す。					-	-
	ハード	大船渡小学校と統合対象であることから、統合の方針が決定するまで現状を維持する。					-	-

(5) 学校教育系施設

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期		
41	大船渡北小学校 (プール機械室)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討(現状維持)
			S51	W	13㎡	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	地域との合意形成を図りながら、適正な学校施設の配置を目指す。					-	-
42	大船渡北小学校 (物置)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討(現状維持)
			S59	S	49㎡	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	地域との合意形成を図りながら、適正な学校施設の配置を目指す。					-	-
43	綾里小学校 (校舎)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持(現状維持)
			H10	RC	2,653㎡	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	予防保全に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。					-	-
44	綾里小学校 (屋内運動場)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IIIサービス維持(長寿命化)
			S48	RC	795㎡	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	長寿命化に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。					屋根・床改修(済) (6百万円)	-
ハード	老朽化に伴い、令和2年度に屋根及び床の改修済み。							
45	綾里小学校 (プール附属室)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持(現状維持)
			H25	W	55㎡	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	予防保全に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。					-	-
46	越喜来小学校 (校舎)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持(現状維持)
			H28	RC	3,553㎡	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	予防保全に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。					-	-
47	越喜来小学校 (屋内運動場)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持(現状維持)
			H28	S	896㎡	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	予防保全に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。					-	-
48	越喜来小学校 (クラブ室)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持(現状維持)
			H28	RC	230㎡	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	予防保全に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。					-	-
49	越喜来小学校 (プール附属室)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持(現状維持)
			H28	W	87㎡	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	予防保全に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。					-	-
50	越喜来小学校 (防災備蓄倉庫)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持(現状維持)
			H28	W	40㎡	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	予防保全に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。					-	-
50	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期		
51	吉浜小学校 (校舎)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討(現状維持)	
		H9	RC	2,137㎡	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域との合意形成を図りながら、適正な学校施設の配置を目指す。					-	-
	ハード	統合の方針が決定するまで現状を維持する。					-	-
52	吉浜小学校 (屋内運動場)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V廃止(除却)	
		S41	S	443㎡	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	既に用途を廃止している。					解体(済) (11百万円)	-
	ハード	老朽化に伴い、令和2年3月に建物を解体した。					-	-
53	吉浜小学校 (倉庫)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討(現状維持)	
		H9	W	20㎡	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域との合意形成を図りながら、適正な学校施設の配置を目指す。					-	-
	ハード	統合の方針が決定するまで現状を維持する。					-	-
54	吉浜小学校 (プール機械室)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討(現状維持)	
		H19	W	19㎡	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域との合意形成を図りながら、適正な学校施設の配置を目指す。					-	-
	ハード	統合の方針が決定するまで現状を維持する。					-	-
55	吉浜小学校 (プール更衣室)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討(現状維持)	
		H19	W	25㎡	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域との合意形成を図りながら、適正な学校施設の配置を目指す。					-	-
	ハード	統合の方針が決定するまで現状を維持する。					-	-
56	旧蛸ノ浦小学校 (校舎)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討(現状維持)	
		S45	RC	2,088㎡	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	小学校統合により、既に機能を移転している。					-	-
	ハード	地域との合意形成や財源の確保を図りながら、解体を含め方針を検討する。					-	-
57	旧蛸ノ浦小学校 (屋内運動場)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討(現状維持)	
		S49	S	577㎡	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	小学校統合により、既に機能を移転している。					-	-
	ハード	地域との合意形成や財源の確保を図りながら、解体を含め方針を検討する。					-	-
58	旧蛸ノ浦小学校 (付属建物、プール)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V廃止(除却)	
		S49	W	108㎡	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	小学校統合により、既に機能を移転している。					解体(済) (10百万円)	-
	ハード	地域との合意形成や財源の確保を図りながら、令和3年度に建物を解体済み。					-	-
59	旧越喜来小学校 (校舎)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	II有効活用(用途転用)	
		S57	RC	1,692㎡	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	甫嶺復興交流推進センターとして活用					改修設計(済) 改修工事(済) 自家発電設備(済) (192百万円)	空調設備 屋根等改修 (51百万円)
	ハード	令和2年度に、甫嶺復興交流推進センターとして必要な改修工事済み。					-	-
60	旧越喜来小学校 (屋内運動場)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	II有効活用(用途転用)	
		S57	S	619㎡	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	甫嶺復興交流推進センターとして活用					改修設計(済) 改修工事(済) (No.59に含む)	屋根等改修 (23百万円)
	ハード	令和2年度に、甫嶺復興交流推進センターとして必要な改修工事済み。					-	-

(5) 学校教育系施設

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期	
61	旧越喜来小学校 (付属建物、プール)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)
		S57	W	17 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	小学校統合により、既に機能を移転している。					解体(済) (6百万円)
ハード	廃止に伴い、令和元年12月に建物等を解体した。						
62	第一中学校 (校舎)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	Ⅲサービス維持 (建て替え)
		S37	RC	5,239 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	建て替え後は、予防保全に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。					基本設計(済) 実施設計(済) 建て替え工事 (124百万円)
ハード	老朽化に伴い、建て替えを行う。						
63	第一中学校 (屋内運動場)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	Ⅲサービス維持 (建て替え)
		S39	S	1,033 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	建て替え後は、予防保全に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。					建て替え工事 (No.62に含む)
ハード	老朽化に伴い、建て替えを行う。						
64	第一中学校 (付属建物、プール)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)
		S54	W	192 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	校舎等の建て替えの際に用途を廃止する。					-
ハード	老朽化に伴い、建物を解体する。						
65	大船渡中学校 (校舎)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	Ⅲサービス維持 (長寿命化)
		S57	RC	5,424 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	長寿命化に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。					-
ハード	老朽化に伴い、屋根、外壁、設備等を更新する。						
66	大船渡中学校 (校舎)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	Ⅲサービス維持 (長寿命化)
		S59	RC	766 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	長寿命化に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。					-
ハード	老朽化に伴い、屋根、外壁、設備等を更新する。						
67	大船渡中学校 (屋内運動場)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	Ⅲサービス維持 (長寿命化)
		S57	S	1,559 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	長寿命化に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。					-
ハード	老朽化に伴い、屋根、外壁、設備等を更新する。						
68	大船渡中学校 (プール附属室)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
		S59	W	77 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	予防保全に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。					-
ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						
69	大船渡中学校 (クラブ室)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
		S60	W	78 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	予防保全に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。					-
ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						
70	末崎中学校 (校舎)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討 (現状維持)
		S61	RC	3,477 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	地域との合意形成を図りながら、適正な学校施設の配置を目指す。					-
ハード	中学校統合後は、校舎等の取扱いが決定するまで現状を維持する。						

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期			
71	末崎中学校 (屋内運動場)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討(現状維持)	
			S62	S	1,437 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域との合意形成を図りながら、適正な学校施設の配置を目指す。						-	-
ハード		中学校統合後は、校舎等の取扱いが決定するまで現状を維持する。							
72	末崎中学校 (プール附属室)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討(現状維持)	
			H2	W	75 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域との合意形成を図りながら、適正な学校施設の配置を目指す。						-	-
ハード		中学校統合後は、校舎等の取扱いが決定するまで現状を維持する。							
73	末崎中学校 (クラブ室)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討(現状維持)	
			H2	W	79 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域との合意形成を図りながら、適正な学校施設の配置を目指す。						-	-
ハード		中学校統合後は、校舎等の取扱いが決定するまで現状を維持する。							
74	末崎中学校 (部室)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討(現状維持)	
			H4	RC	40 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	地域との合意形成を図りながら、適正な学校施設の配置を目指す。						-	-
ハード		中学校統合後は、校舎等の取扱いが決定するまで現状を維持する。							
75	東朋中学校 (校舎)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持(現状維持)	
			H29	RC	3,556 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	予防保全に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。						-	-
ハード		必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。							
76	東朋中学校 (屋内運動場)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持(現状維持)	
			H29	RC	1,412 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	予防保全に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。						-	-
ハード		必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。							
77	東朋中学校 (クラブ室)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持(現状維持)	
			H29	RC	141 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	予防保全に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。						-	-
ハード		必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。							
78	東朋中学校 (防災備蓄倉庫)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持(現状維持)	
			H29	RC	29 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	予防保全に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。						-	-
ハード		必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。							
79	東朋中学校 (部室)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持(現状維持)	
			H29	RC	21 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	予防保全に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。						-	-
ハード		必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。							
80	東朋中学校 (武道場)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持(現状維持)	
			H29	RC	381 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	予防保全に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。						-	-
ハード		必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。							

(5) 学校教育系施設

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期		
81	東朋中学校 (部室)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H29	W	27 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	予防保全に取り組みつつ、適正な学校施設の配置を目指す。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-
82	旧日頃市中学校 (校舎)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討 (現状維持)	
		H1	RC	2,167 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	統合に伴い機能を廃止し、今後の利活用の在り方を検討する。					-	-
	ハード	統合後の取扱いが決定するまで現状を維持する。					-	-
83	旧日頃市中学校 (屋内運動場)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討 (現状維持)	
		H5	S	1,330 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	統合に伴い、当面の間、第一中学校の附帯施設として位置付けるとともに、今後の利活用の在り方を検討する。					-	-
	ハード	統合後の取扱いが決定するまで現状を維持する。					-	-
84	旧日頃市中学校 (プール附属室)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討 (現状維持)	
		S48	W	20 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	統合に伴い日頃市小学校へ移管し、適正な学校施設の配置を目指す。					-	-
	ハード	統合の方針が決定するまで現状を維持する。					-	-
85	旧日頃市中学校 (プール機械室)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討 (現状維持)	
		H1	RC	9 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	統合に伴い日頃市小学校へ移管し、適正な学校施設の配置を目指す。					-	-
	ハード	統合の方針が決定するまで現状を維持する。					-	-
86	旧日頃市中学校 (プール機械室)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討 (現状維持)	
		H7	W	15 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	統合に伴い日頃市小学校へ移管し、適正な学校施設の配置を目指す。					-	-
	ハード	統合の方針が決定するまで現状を維持する。					-	-
87	旧日頃市中学校 (クラブ室)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討 (現状維持)	
		H1	W	47 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	統合に伴い機能を廃止し、今後の利活用の在り方を検討する。					-	-
	ハード	統合後の取扱いが決定するまで現状を維持する。					-	-
88	旧日頃市中学校 (クラブ室)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討 (現状維持)	
		H1	W	30 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	統合に伴い機能を廃止し、今後の利活用の在り方を検討する。					-	-
	ハード	統合後の取扱いが決定するまで現状を維持する。					-	-
89	旧綾里中学校 (校舎)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討 (現状維持)	
		S53	RC	2,513 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	統合に伴い機能を廃止し、今後の利活用の在り方を検討する。					-	-
	ハード	統合後の取扱いが決定するまで現状を維持する。					-	-
90	旧綾里中学校 (屋内運動場)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討 (現状維持)	
		H5	S	1,004 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	統合に伴い機能を廃止し、今後の利活用の在り方を検討する。					-	-
	ハード	統合後の取扱いが決定するまで現状を維持する。					-	-

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期	
91	旧綾里中学校 (クラブ室)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)
		H5	W	33 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	統合に伴い機能を廃止する。					解体(済) (3百万円)
ハード	統合後、令和3年度に建物を解体済み。						
92	旧綾里中学校 (倉庫)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)
		S37	W	55 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	統合に伴い機能を廃止する。					解体(済) (No.91 に含む)
ハード	統合後、令和3年度に建物を解体済み。						
93	旧越喜来中学校 (校舎)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)
		S33	RC	2,380 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	統合に伴い機能を廃止する。					-
ハード	取扱いが決定するまで現状維持だが基本は除却の方向とする。						
94	旧越喜来中学校 (屋内運動場)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)
		S33	RC	793 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	統合に伴い、当面の間、第一中学校の附帯施設として位置付けるとともに、今後の利活用の在り方を検討する。					-
ハード	取扱いが決定するまで現状維持だが基本は除却の方向とする。						
95	旧越喜来中学校 (付属建物)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)
		S57	W	34 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	統合に伴い機能を廃止する。					解体(済) (1百万円)
ハード	統合後、令和2年度に建物を解体済み。						
96	旧吉浜中学校 (校舎)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV 方針検討 (現状維持)
		H2	RC	1,827 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	統合に伴い機能を廃止し、今後の利活用の在り方を検討する。					-
ハード	統合後の取扱いが決定するまで現状を維持する。						
97	旧吉浜中学校 (屋内運動場)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV 方針検討 (現状維持)
		H2	S	856 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	統合に伴い、当面の間、第一中学校の附帯施設として位置付けるとともに、今後の利活用の在り方を検討する。					-
ハード	統合後の取扱いが決定するまで現状を維持する。						
98	旧吉浜中学校 (機械室)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV 方針検討 (現状維持)
		H2		9 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	統合に伴い機能を廃止し、今後の利活用の在り方を検討する。					-
ハード	統合後の取扱いが決定するまで現状を維持する。						
99	大船渡北学校給食共同調理場	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
		S50	RC	186 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	学校統廃合の進捗に適応した所管校の見直し、そのための配送ルートの確保なども含め、より効果的で安定した事業体制の在り方を検討する。					食器消毒保管庫更新(済) 加熱調理機器更新(済) 冷凍冷蔵庫更新(済) (6百万円)
ハード	学校統廃合の計画を踏まえた施設の修繕や調理機器の更新など、適切な維持管理に努める。						
100	大船渡学校給食共同調理場	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
		S57	RC	211 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	学校統廃合の進捗に適応した所管校の見直し、そのための配送ルートの確保なども含め、より効果的で安定した事業体制の在り方を検討する。					食器消毒保管庫更新(済) 加熱調理機器更新(済) 真空冷却機購入(済) (9百万円)
ハード	学校統廃合の計画を踏まえた施設の修繕や調理機器の更新など、適切な維持管理に努める。						

(5) 学校教育系施設

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期		
101	末崎学校給食共同調理場		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）
			S61	RC	155 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	学校統廃合の進捗に適した所管校の見直し、そのための配送ルートの確保なども含め、より効果的で安定した事業体制の在り方を検討する。					食器消毒保管庫更新(済) (1百万円)	-
ハード	学校統廃合の計画を踏まえた施設の修繕や調理機器の更新など、適切な維持管理に努める。							
102	旧綾里学校給食共同調理場		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	II 有効活用（統合）
			H10	W	174 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	綾里中学校の統合に伴い機能を集約する。					-	-
ハード	綾里小学校の附帯施設として、適切な維持管理に努める。							
103	北部学校給食センター		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）
			H26	S	1,203 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	学校統廃合の進捗に適した所管校の見直し、そのための配送ルートの確保なども含め、より効果的で安定した事業体制の在り方を検討する。					-	-
ハード	計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。							

(6) 子育て支援施設

(6) 子育て支援施設

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期		
1	綾里こども園		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）
			H26	W	785 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	現在の機能を維持しつつ、多様化する利用者ニーズに対応していく。						
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						
2	旧綾里こども園		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止（除却）
			S43	W	876 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	既に綾里こども園に機能を移転している。					解体(済) (26百万円)	-
	ハード	令和2年度に建物を解体済み。						
3	越喜来こども園		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）
			H28	W	650 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	現在の機能を維持しつつ、多様化する利用者ニーズに対応していく。						
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						
4	旧越喜来保育所		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止（除却）
			H23	W	101 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	既に越喜来こども園に機能を移転している。					解体(済) (No.7に含む)	-
	ハード	平成30年度に建物を解体済み。						
5	甬嶺へき地保育所		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止（除却）
			S40	W	205 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	既に越喜来こども園に機能を移転している。						
	ハード	平成29年度に建物を解体済み。						
6	吉浜こども園		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）
			H23	W	500 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	現在の機能を維持しつつ、多様化する利用者ニーズに対応していく。						
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						
7	旧越喜来幼稚園		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止（除却）
			S54	W	486 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	既に越喜来こども園に機能を移転している。					解体(済) (17百万円)	-
	ハード	平成30年度に建物を解体済み。						
8	盛小学校放課後児童クラブ		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）
			H22	軽量鉄骨	147 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	現在の機能を維持しつつ、多様化する利用者ニーズに対応していく。						
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						
9	大船渡小学校放課後児童クラブ		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）
			H25	軽量鉄骨	147 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	現在の機能を維持しつつ、多様化する利用者ニーズに対応していく。						
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施しつつ、学校統合の方針に合わせた施設配置を行う。						
10	末崎小学校放課後児童クラブ		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）
			S47	RC	m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	現在の機能を維持しつつ、多様化する利用者ニーズに対応していく。						
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施しつつ、学校統合の方針に合わせた施設配置を行う。						

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期			
11	赤崎小学校放課後児童クラブ		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
			H29	RC	165 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	現在の機能を維持しつつ、多様化する利用者ニーズに対応していく。						-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						-	-
12	猪川小学校放課後児童クラブ		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
			H21	軽量鉄骨	262 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	現在の機能を維持しつつ、多様化する利用者ニーズに対応していく。						-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						-	-
13	立根小学校放課後児童クラブ		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
			H20	軽量鉄骨	170 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	現在の機能を維持しつつ、多様化する利用者ニーズに対応していく。						-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						-	-
14	日頃市小学校放課後児童クラブ		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
			H28	軽量鉄骨	92 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	現在の機能を維持しつつ、多様化する利用者ニーズに対応していく。						-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						-	-
15	大船渡北小学校放課後児童クラブ		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
			S49	RC	m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	現在の機能を維持しつつ、多様化する利用者ニーズに対応していく。						-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施しつつ、学校統合の方針に合わせた施設配置を行う。						-	-
16	綾里小学校放課後児童クラブ		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
			H30	RC	103 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	現在の機能を維持しつつ、多様化する利用者ニーズに対応していく。						-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						-	-
17	吉浜小学校放課後児童クラブ		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
			R1	RC	101 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	現在の機能を維持しつつ、多様化する利用者ニーズに対応していく。						-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						-	-
18	蛸ノ浦児童館		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止（除却）	
			S39	軽量鉄骨	437 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	既に用途を廃止している。						解体(済) (9百万円)	-
	ハード	老朽化に伴い、令和元年11月に建物を解体した。						-	-
19	蛸ノ浦児童館 (湯沸室)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止（除却）	
			S44	W	9 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	既に用途を廃止している。						解体(済) (No.18に含む)	-
	ハード	老朽化に伴い、令和元年11月に建物を解体した。						-	-

(7) 保健・福祉施設

(7) 保健・福祉施設

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期		
1	保健介護センター		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	Ⅲサービス維持（長寿命化）
			S58	RC	514 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	利用者ニーズを把握し、サービスの工夫により利用促進を図る。 <u>令和4年度に、保健センターへ施設名を変更した。</u>					-	空調等更新 トイレ改修 (12百万円)
ハード	長寿命化のため、各設備を更新する。また、機能強化や大規模改修について検討する。							
2	Y・Sセンター		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	Ⅲサービス維持（長寿命化）
			H4	RC	3,344 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	利用者ニーズを把握し、サービスの工夫により利用促進を図る。					ボイラー更新(済) 屋上防水改修(済) (163百万円)	暖房設備更新 屋根及び内装改修 浴槽・プール、換気設備 エレベーター更新 (316百万円)
ハード	長寿命化のため、各設備を更新する。							
3	Y・Sセンター (倉庫)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）
			H4	S	66 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	利用者ニーズを把握し、サービスの工夫により利用促進を図る。					-	-
ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。							
4	Y・Sセンター (給水施設)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）
			H4	FRP	283 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	利用者ニーズを把握し、サービスの工夫により利用促進を図る。					給水設備更新(済) (No.2に含む)	-
ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。							
5	デイサービスセンター		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止（譲渡）
			H4	S	347 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	効率的な維持管理、運営体制により、サービスを継続する。					-	譲渡 (-)
ハード	民間事業者へ譲渡する。							
6	母子生活支援施設(つばき荘)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止（除却）
			S29	W	536 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	既に用途を廃止している。					解体(済) (21百万円)	-
ハード	老朽化に伴い、 <u>令和3年度に建物を解体済み。</u>							
7	母子生活支援施設(つばき荘) (物置)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止（除却）
			S29	W	19 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	既に用途を廃止している。					解体(済) (1百万円)	-
ハード	老朽化に伴い、 <u>令和3年度に建物を解体済み。</u>							

(8) 医療施設

(8) 医療施設

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期		
1	綾里診療所・歯科診療所		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	Ⅲサービス維持（長寿命化）
			H22	S	330 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	利用者ニーズを把握し、サービスを工夫する。					-	照明 LED 化 外壁修繕 内壁修繕 (25 百万円)
ハード	外壁修繕や照明 LED 化など、長寿命化や機能改善を図る。							
2	越喜来診療所		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（機能改善）
			H8	S	622 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	利用者ニーズを把握し、サービスを工夫する。					空調設置(済) トイレ改修設計(済) (8 百万円)	トイレ改修 照明 LED 化 (21 百万円)
ハード	空調設備や衛生設備、照明設備等を更新し、機能改善を図る。							
3	越喜来診療所 (車庫)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）
			H8	S	66 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	利用者ニーズを把握し、サービスを工夫する。					-	-
ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。							
4	吉浜診療所		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（機能改善）
			H10	W	144 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	利用者ニーズを把握し、サービスを工夫する。					空調更新(済) (1 百万円)	照明 LED 化 (3 百万円)
ハード	空調設備や照明設備等を更新し機能改善を図る。							

(9) 行政系施設（庁舎等）

(9) 行政系施設（庁舎等）

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期		
1	市役所本庁舎	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（機能改善）	
		S45	RC	5,230㎡	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	市民サービスや災害時における拠点施設であり、今後も機能を維持する。					耐震改修(済) 電気・機械設備改修(済) (475百万円)	給水管布設替 (29百万円)
	ハード	計画的な修繕・設備更新等に取り組む。						
2	市役所本庁舎 (増築棟)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（機能改善）	
		H3	RC	1,503㎡	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	市民サービスや災害時における拠点施設であり、今後も機能を維持する。					耐震改修(済) 電気・機械設備改修(済) (No.1に含む)	給水管布設替 (No.1に含む)
	ハード	計画的な修繕・設備更新等に取り組む。						
3	市役所本庁舎 (書類・備品保管庫)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
		H9	軽量鉄骨	115㎡	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	市民サービスや災害時における拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な修繕・設備更新等に取り組む。						
4	市役所本庁舎 (車庫)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
		S54	S	115㎡	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	市民サービスや災害時における拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な修繕・設備更新等に取り組む。						
5	市役所本庁舎 (車庫)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
		H6	S	536㎡	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	市民サービスや災害時における拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な修繕・設備更新等に取り組む。						
6	市役所三陸支所	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
		H9	RC	820㎡	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	市民サービスや災害時における拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な修繕・設備更新等に取り組む。						
7	綾里地域振興出張所	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（機能改善）	
		H22	S	41㎡	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	コミュニティ施設等との複合施設であることから機能を維持する。					空調設置(済) ((1)No.11に含む)	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						
8	吉浜地域振興出張所	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（機能改善）	
		H6	S	97㎡	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	コミュニティ施設等との複合施設であることから機能を維持する。					空調設置(済) ((1)No.13に含む)	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						
9	小出倉庫	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
		H25	軽量鉄骨	167㎡	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	当面は現状の機能を維持する。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						

(10) 行政系施設（消防・防災施設）

(10) 行政系施設（消防・防災施設）

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期		
1	大船渡市防災センター (庁舎棟)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H29	RC	3,235 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	消防・救急体制の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-
2	大船渡市防災センター (訓練棟)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H29	S	122 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	消防・救急体制の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-
3	旧大船渡消防署庁舎外	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)	
		S38	不明	2,036 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	既に防災センターに機能を移転している。					設計(済)	-
	ハード	老朽化に伴い、令和2年度に建物を解体済み。					解体(済) (105百万円)	-
4	第1分団第1部屯所 (吉野町)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H23	W	66 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-
5	コミュニティ消防センター (木町)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H15	W	124 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-
6	第1分団第3部屯所 (八幡町)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		S55	W	138 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-
7	第1分団第4部屯所 (田茂山)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H27	W	83 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-
8	第2分団第1部屯所 (大船渡中央)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H28	W	94 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-
9	第2分団第2部屯所 (大船渡北)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H29	W	84 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-
10	第2分団第3部屯所 (笹崎)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H28	W	85 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期		
11	第3分団第1部屯所 (平)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H28	W	89 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-
12	第3分団第2部屯所 (下船渡)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H12	W	74 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-
13	第3分団第3部屯所 (永沢)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H29	W	84 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-
14	第4分団第1部屯所 (細浦)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H28	W	104 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-
15	第4分団第2部屯所 (平)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	Ⅲ サービス維持 (建て替え)	
		S60	W	72 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	建て替え (39百万円)
	ハード	地盤沈下により建物が傾斜し、外壁やタイル、土間等に多数亀裂が見られることから、建て替えを行う。					-	
16	コミュニティー消防センター (梅神)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H2	W	58 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-
17	第4分団第4部屯所 (門ノ浜)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H30	W	84 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-
18	第4分団第5部屯所 (泊里)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H27	W	84 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-
19	第5分団第1部屯所 (長崎)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		R1	W	86 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					建て替え(済) (33百万円)	-
	ハード	平成30年度に建て替えを行った。計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-
20	第5分団第2部屯所 (蛸ノ浦)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H28	W	104 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-

(10) 行政系施設（消防・防災施設）

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期		
21	第5分団第3部屯所 (清水)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H29	W	84 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-
22	第6分団第1部屯所 (永浜)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H29	W	84 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-
23	第6分団第2部屯所 (中赤崎)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H28	W	99 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-
24	コミュニティ消防センター (上三区)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		S62	W	85 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-
25	第7分団第1部屯所 (久名畑)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H19	W	66 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-
26	第7分団第2部屯所 (長谷堂)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H21	W	66 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-
27	第7分団第3部屯所 (下権現堂)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		S54	W	97 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-
28	第8分団第1部屯所 (萱中)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		R1	W	84 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					建て替え(済) (37百万円)	-
	ハード	平成30年度に建て替えを行った。計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-
29	第8分団第2部屯所 (田谷)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	III サービス維持 (建て替え)	
		S57	W	115 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	建て替え (34百万円)
	ハード	全体的に老朽化していることから、建て替えを行う。					-	-
30	第8分団第3部屯所 (下欠)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		R3	W	77 m²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					建て替え(済) (28百万円)	-
	ハード	令和2年度に建て替え済み。計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期		
31	第9分団第1部屯所 (関谷)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		S61	W	80 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	消防能力の維持・向上に資するよう、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-
32	コミュニティ消防センター (鷹生)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H8	W	67 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-
33	第9分団第3部屯所 (平山)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	<u>I 現状維持 (現状維持)</u>	
		S57	W	58 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	<u>計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。</u>					-	-
34	コミュニティ消防センター (長安寺)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H16	W	72 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-
35	第10分団第1部屯所 (港)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H22	W	83 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-
36	第10分団第2部屯所 (田浜)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H29	W	84 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-
37	コミュニティ消防センター (野形)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H10	W	48 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-
38	第10分団第4部屯所 (宮野)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (<u>現状維持</u>)	
		R2	W	75 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					建て替え(済)	-
	ハード	<u>令和元年度に建て替え済み。計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。</u>					(51百万円)	-
39	第10分団第5部屯所 (野々前)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		S50	W	33 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-
40	第10分団第5部屯所 (白浜)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		S58	W	20 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-

(10) 行政系施設（消防・防災施設）

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期		
41	コミュニティ消防センター (小石浜)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H17	W	54 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-
42	第10分団第6部屯所 (砂子浜)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止	
		S59	W	21 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	平成30年8月に第10分団第5部に統合した。					賃貸借契約解除 (済)	-
ハード	地域所有の建物であることから、統合後は地域に返却する。							
43	第11分団第1部屯所 (鬼沢)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		S54	W	27 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-
44	第11分団第1部屯所 (甫嶺)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H27	W	84 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-
45	第11分団第2部屯所(1部に統合) (上甫嶺)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)	
		H14	W	57 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	令和元年度に第11分団第1部に統合した。					解体(済) (3百万円)	-
ハード	統合に伴い、令和2年度に建物を解体済み。							
46	第11分団第2部屯所(旧6部屯所) (崎浜)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H30	W	89 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-
47	第11分団第3部屯所 (泊)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H29	W	84 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-
48	第11分団第4部屯所 (浦浜)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H28	W	97 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-
49	第11分団第5部屯所 (前田)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		R4	W	79 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					建て替え(済) (28百万円)	-
ハード	令和3年度に建て替え済み。計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。							
50	第11分団第5部屯所 (中村)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H4	W	25 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。					-	-

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期		
51	コミュニティ消防センター (下通)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
		H12	W	73 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。						
52	第12分団第1部屯所 (大野)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
		H2	W	54 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。						
53	コミュニティ消防センター (扇洞)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
		H11	W	60 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。						
54	コミュニティ消防センター (根白)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
		H13	W	73 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。						
55	第12分団第4部屯所 (千歳)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
		H17	W	50 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	非常備消防の拠点施設であり、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	計画的な点検・修繕等により、老朽化対策や長寿命化を図る。						

(11) 公営住宅

(11) 公営住宅

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期	
1	御山下団地	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)
		S33	C B	341 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	老朽化が著しいことから用途を廃止する。					-
ハード	老朽化に伴い、建物を解体する。						
2	地ノ森団地 (1～20号)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)
		S35	C B	432 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	老朽化が著しいことから用途を廃止する。					-
ハード	老朽化に伴い、建物を解体する。						
3	地ノ森団地 (28～35、40～47号)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)
		S35	C B	485 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	老朽化が著しいことから用途を廃止する。					-
ハード	老朽化に伴い、建物を解体する。						
4	地ノ森団地 (67～86号)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討 (現状維持)
		S38	C B	908 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	耐用年数が経過しているが、需要が高い住宅であることから、当面は現状を維持する。					-
ハード	指定管理者制度等を継続し、計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。						
5	上山団地	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)
		S37	C B	363 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	老朽化のほか、近隣の市営住宅への統合が考えられることから、廃止する。					-
ハード	老朽化に伴い、建物を解体する。						
6	田中 (災害) 団地	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)
		S35	C B	224 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	老朽化のほか、近隣の市営住宅への統合が考えられることから、廃止する。					-
ハード	老朽化に伴い、建物を解体する。						
7	田中団地	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)
		S28	補強 C B	687 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	老朽化のほか、近隣の市営住宅への統合が考えられることから、廃止する。					-
ハード	老朽化に伴い、建物を解体する。						
8	田中南アパート	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
		H25	R C	1,065 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の長寿命化に取り組む。					-
ハード	指定管理者制度等を継続し、計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。						
9	平団地 (111～212号)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
		H12	W	266 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の長寿命化に取り組む。					-
ハード	指定管理者制度等を継続し、計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。						
10	平団地 (311～422号)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
		H14	R C	678 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の長寿命化に取り組む。					-
ハード	指定管理者制度等を継続し、計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。						

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期		
11	平岡地 (511～534号)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H26	RC	831 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の長寿命化に取り組む。					-	-
	ハード	指定管理者制度等を継続し、計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。					-	-
12	中井団地 (1～12号)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討 (現状維持)	
		S39	CB	410 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	耐用年数が経過しているが、需要が高い住宅であることから、当面は現状を維持する。					-	-
	ハード	当面は現状を維持するが、長期的には建物は廃止する。					-	-
13	中井団地 (13～20号)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討 (現状維持)	
		S40	CB	261 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	耐用年数が経過しているが、需要が高い住宅であることから、当面は現状を維持する。					-	-
	ハード	当面は現状を維持するが、長期的には建物は廃止する。					-	-
14	沢田団地 (2～4、6～8、9～12号)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討 (現状維持)	
		S40	CB	316 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	耐用年数が経過しているが、立地条件が良く利便性が高いことから、当面は現状を維持する。					-	-
	ハード	当面は現状を維持するが、長期的には建物は廃止する。					-	-
15	沢田団地 (13～20、22～24号)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討 (現状維持)	
		S41	CB	371 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	耐用年数が経過しているが、立地条件が良く利便性が高いことから、当面は現状を維持する。					-	-
	ハード	当面は現状を維持するが、長期的には建物は廃止する。					-	-
16	佐野団地	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討 (現状維持)	
		S43	CB	690 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	耐用年数が経過しているが、立地条件が良く利便性が高いことから、当面は現状を維持する。					-	-
	ハード	当面は現状を維持するが、長期的には建物は廃止する。					-	-
17	後ノ入団地 (31～42号)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)	
		S45	CB	391 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	老朽化のほか、近隣の市営住宅への統合が考えられることから、廃止する。					-	解体 (12百万円)
	ハード	老朽化に伴い、建物を解体する。					-	-
18	後ノ入団地 (43～50号)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)	
		S46	CB	288 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	老朽化のほか、近隣の市営住宅への統合が考えられることから、廃止する。					-	解体 (8百万円)
	ハード	老朽化に伴い、建物を解体する。					-	-
19	後ノ入東団地	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H25	W	899 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の長寿命化に取り組む。					-	-
	ハード	指定管理者制度等を継続し、計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。					-	-
20	山口団地	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)	
		S39	CB	279 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	老朽化のほか、近隣の市営住宅への統合が考えられることから、用途を廃止する。					解体(済) (6百万円)	-
	ハード	老朽化に伴い、令和3年度に建物を解体済み。					-	-

(11) 公営住宅

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期		
21	堀之内団地 (1~12号)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討(現状維持)	
		S49	CB	463㎡	旧	H29~R03	R04~R08	
	ソフト	耐用年数が経過しているが、需要を考慮の上、当面は現状を維持する。					-	-
	ハード	当面は現状を維持するが、長期的には建物は廃止する。					-	-
22	堀之内団地 (13~24号)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討(現状維持)	
		S50	CB	463㎡	旧	H29~R03	R04~R08	
	ソフト	耐用年数が経過しているが、需要を考慮の上、当面は現状を維持する。					-	-
	ハード	当面は現状を維持するが、長期的には建物は廃止する。					-	-
23	堀之内団地 (25~32号)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討(現状維持)	
		S51	CB	399㎡	旧	H29~R03	R04~R08	
	ソフト	耐用年数が経過しているが、需要を考慮の上、当面は現状を維持する。					-	-
	ハード	当面は現状を維持するが、長期的には建物は廃止する。					-	-
24	堀之内団地 (33~36号)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討(現状維持)	
		S51	CB	184㎡	旧	H29~R03	R04~R08	
	ソフト	耐用年数が経過しているが、需要を考慮の上、当面は現状を維持する。					-	-
	ハード	当面は現状を維持するが、長期的には建物は廃止する。					-	-
25	菅生団地 (9~28号)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討(現状維持)	
		S42	CB	690㎡	旧	H29~R03	R04~R08	
	ソフト	耐用年数が経過しているが、需要を考慮の上、当面は現状を維持する。					-	-
	ハード	当面は現状を維持するが、長期的には建物は廃止する。					-	-
26	菅生団地 (29~36号)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討(現状維持)	
		S47	CB	299㎡	旧	H29~R03	R04~R08	
	ソフト	耐用年数が経過しているが、需要を考慮の上、当面は現状を維持する。					-	-
	ハード	当面は現状を維持するが、長期的には建物は廃止する。					-	-
27	下欠団地	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V廃止(除却)	
		S51	CB	544㎡	旧	H29~R03	R04~R08	
	ソフト	老朽化のほか、近隣の市営住宅への統合が考えられることから、用途を廃止する。					解体(済) (12百万円)	-
ハード	老朽化に伴い、令和2年度に建物を解体済み。							
28	桑原団地	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討(現状維持)	
		S52	CB	613㎡	旧	H29~R03	R04~R08	
	ソフト	耐用年数が経過しているが、需要を考慮の上、当面は現状を維持する。					-	-
	ハード	当面は現状を維持するが、長期的には建物は廃止する。					-	-
29	関谷団地 (1~4号)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討(現状維持)	
		S53	CB	209㎡	旧	H29~R03	R04~R08	
	ソフト	耐用年数が経過しているが、需要を考慮の上、当面は現状を維持する。					-	-
	ハード	当面は現状を維持するが、長期的には建物は廃止する。					-	-
30	関谷団地 (5~12号)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討(現状維持)	
		S53	CB	436㎡	旧	H29~R03	R04~R08	
	ソフト	耐用年数が経過しているが、需要を考慮の上、当面は現状を維持する。					-	-
	ハード	当面は現状を維持するが、長期的には建物は廃止する。					-	-

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期		
31	関谷団地 (13～24号)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討(現状維持)	
		S54	CB	655㎡	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	耐用年数が経過しているが、需要を考慮の上、当面は現状を維持する。					-	-
	ハード	当面は現状を維持するが、長期的には建物は廃止する。					-	-
32	関谷団地 (111～122号)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	Ⅲサービス維持(長寿命化)	
		H7	RC	326㎡	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の長寿命化に取り組む。					-	長寿命化 (16百万円)
	ハード	外壁改修等を行い長寿命化を図る。					-	-
33	関谷団地 (211～236号)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	Ⅲサービス維持(長寿命化)	
		H8	RC	1,591㎡	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の長寿命化に取り組む。					-	長寿命化 (44百万円)
	ハード	外壁改修等を行い長寿命化を図る。					-	-
34	長安寺団地 (1～28号)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	Ⅲサービス維持(長寿命化)	
		S44	CB	951㎡	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の長寿命化及び廃止に取り組む。					長寿命化(済) (62百万円)	一部解体 長寿命化 (38百万円)
	ハード	外壁改修等を行い長寿命化を図るが、一部建物は老朽化に伴い、廃止する。					-	-
35	長安寺団地 (29～36号)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	Ⅲサービス維持(長寿命化)	
		S45	CB	299㎡	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の長寿命化に取り組む。					長寿命化(済) (No.34に含む)	-
	ハード	令和2年度に外壁改修等を行い長寿命化を実施済み。					-	-
36	長安寺団地 (37～48号)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	Ⅲサービス維持(長寿命化)	
		S46	CB	430㎡	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の長寿命化に取り組む。					長寿命化(済) (No.34に含む)	長寿命化 (No.34に含む)
	ハード	外壁改修等を行い長寿命化を図る。					-	-
37	所通団地 (2～5号)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	Ⅲサービス維持(長寿命化)	
		H4	W	252㎡	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の長寿命化に取り組む。					-	長寿命化 (8百万円)
	ハード	外壁改修等を行い長寿命化を図る。					-	-
38	所通団地 (6～10号)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	Ⅲサービス維持(長寿命化)	
		H5	W	345㎡	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の長寿命化に取り組む。					-	長寿命化 (11百万円)
	ハード	外壁改修等を行い長寿命化を図る。					-	-
39	所通団地 (11～15号)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	Ⅲサービス維持(長寿命化)	
		H6	W	360㎡	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の長寿命化に取り組む。					-	長寿命化 (11百万円)
	ハード	外壁改修等を行い長寿命化を図る。					-	-
40	前田団地 (9～15号)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V廃止(除却)	
		S43	W	96㎡	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	既に用途を廃止している。					解体(済) (2百万円)	-
	ハード	平成29年度に建物を解体済み。					-	-

(11) 公営住宅

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期	
41	前田団地 (1～8号)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)
		S44	W	108 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	既に用途を廃止している。					解体(済) (2百万円)
ハード	平成29年度に建物を解体済み。						
42	横石団地 (1～8号)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
		H7	W	618 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の長寿命化に取り組む。					-
ハード	指定管理者制度等を継続し、計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。						
43	横石団地 (9～10号)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
		H9	W	164 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の長寿命化に取り組む。					-
ハード	指定管理者制度等を継続し、計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。						
44	扇洞団地	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)
		S44	W	96 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	老朽化が著しいことから用途を廃止する。					解体(済) (3百万円)
ハード	老朽化に伴い、令和元年10月に建物を解体した。						
45	野形団地 (1～5号)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
		H11	W	370 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の長寿命化に取り組む。					-
ハード	指定管理者制度等を継続し、計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。						
46	野形団地 (6～10号)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
		H12	W	396 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の長寿命化に取り組む。					-
ハード	指定管理者制度等を継続し、計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。						
47	野形団地 (11～13号)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
		H13	W	255 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の長寿命化に取り組む。					-
ハード	指定管理者制度等を継続し、計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。						
48	宇津野沢アパート	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
		H26	RC	1,396 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の長寿命化に取り組む。					-
ハード	指定管理者制度等を継続し、計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。						
49	下館下アパート	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
		H28	RC	4,353 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の長寿命化に取り組む。					-
ハード	指定管理者制度等を継続し、計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。						
50	赤沢アパート	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
		H26	RC	1,600 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の長寿命化に取り組む。					-
ハード	指定管理者制度等を継続し、計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。						

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期			
51	上山東アパート		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
			H26	RC	725 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の長寿命化に取り組む。						-	-
	ハード	指定管理者制度等を継続し、計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。						-	-
52	田中東団地 (111～322号)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
			H25	W	899 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の長寿命化に取り組む。						-	-
	ハード	指定管理者制度等を継続し、計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。						-	-
53	田中東団地 (411～522号)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
			H26	W	551 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の長寿命化に取り組む。						-	-
	ハード	指定管理者制度等を継続し、計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。						-	-
54	川原アパート		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
			H27	RC	1,966 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の長寿命化に取り組む。						-	-
	ハード	指定管理者制度等を継続し、計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。						-	-
55	野々田アパート		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
			H28	RC	3,454 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の長寿命化に取り組む。						-	-
	ハード	指定管理者制度等を継続し、計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。						-	-
56	平南アパート		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
			H28	RC	3,712 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の長寿命化に取り組む。						-	-
	ハード	指定管理者制度等を継続し、計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。						-	-
57	泊里団地		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
			H27	W	366 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の長寿命化に取り組む。						-	-
	ハード	指定管理者制度等を継続し、計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。						-	-
58	沢田南アパート		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
			H27	RC	1,376 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の長寿命化に取り組む。						-	-
	ハード	指定管理者制度等を継続し、計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。						-	-
59	後ノ入南団地		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
			H27	W	300 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の長寿命化に取り組む。						-	-
	ハード	指定管理者制度等を継続し、計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。						-	-
60	大洞団地		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）	
			H27	W	765 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の長寿命化に取り組む。						-	-
	ハード	指定管理者制度等を継続し、計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。						-	-

(11) 公営住宅

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期		
61	山口西アパート		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）
			H28	RC	954 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の長寿命化に取り組む。					-	-
	ハード	指定管理者制度等を継続し、計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。					-	-
62	蛸ノ浦アパート		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）
			H27	RC	999 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の長寿命化に取り組む。					-	-
	ハード	指定管理者制度等を継続し、計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。					-	-
63	長谷堂東団地		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）
			H27	RC	3,389 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の長寿命化に取り組む。					-	-
	ハード	指定管理者制度等を継続し、計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。					-	-
64	下欠東アパート		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）
			H27	RC	2,918 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の長寿命化に取り組む。					-	-
	ハード	指定管理者制度等を継続し、計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。					-	-
65	所通東アパート		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）
			H27	RC	1,416 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の長寿命化に取り組む。					-	-
	ハード	指定管理者制度等を継続し、計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。					-	-
66	杉下団地		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）
			H27	W	761 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の長寿命化に取り組む。					-	-
	ハード	指定管理者制度等を継続し、計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。					-	-
67	崎浜団地		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）
			H27	W	502 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の長寿命化に取り組む。					-	-
	ハード	指定管理者制度等を継続し、計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。					-	-
68	清水アパート		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）
			H26	RC	2,153 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の長寿命化に取り組む。					-	-
	ハード	指定管理者制度等を継続し、計画的に維持管理・修繕・更新等の実施に取り組む。					-	-
69	盛中央団地		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討（現状維持）
			S59	RC	4,866 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	当面は現状を維持する。					-	-
	ハード	当面は現状を維持するが、長期的には建物は廃止する。					-	-
70	盛中央団地 （集会所）		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討（現状維持）
			S59	RC	76 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	当面は現状を維持する。					-	-
	ハード	当面は現状を維持するが、長期的には建物は廃止する。					-	-

(12) その他施設

(12) その他施設

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期	
1	旧崎浜小学校	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)
		S46	不明	2,463 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	統合により、既に用途を廃止している。					設計(済) 解体(済) (97百万円)
ハード	令和2年度に建物を解体済み。						
2	旧崎浜保育所	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)
		S46	不明	390 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	統合により、既に用途を廃止している。					設計(済) 解体(済) (No.1に含む)
ハード	令和2年度に建物を解体済み。						
3	三陸鉄道運行本部大船渡派出所 (事務所)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
		S58	S	355 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	地域の公共交通機関の施設として、今後も機能を維持する。					-
ハード	三陸鉄道(株)、岩手県及び関係自治体と連携を図りながら計画的な維持管理に取り組む。						
4	三陸鉄道運行本部大船渡派出所 (検収庫)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
		S58	S	465 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	地域の公共交通機関の施設として、今後も機能を維持する。					-
ハード	三陸鉄道(株)、岩手県及び関係自治体と連携を図りながら計画的な維持管理に取り組む。						
5	三陸鉄道運行本部大船渡派出所 (地震計室)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
		S58	S	4 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	地域の公共交通機関の施設として、今後も機能を維持する。					-
ハード	三陸鉄道(株)、岩手県及び関係自治体と連携を図りながら計画的な維持管理に取り組む。						
6	三陸鉄道運行本部大船渡派出所 (油庫)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
		S58	S	11 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	地域の公共交通機関の施設として、今後も機能を維持する。					-
ハード	三陸鉄道(株)、岩手県及び関係自治体と連携を図りながら計画的な維持管理に取り組む。						
7	三陸鉄道運行本部大船渡派出所 (排水処理室)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
		S58	S	36 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	地域の公共交通機関の施設として、今後も機能を維持する。					-
ハード	三陸鉄道(株)、岩手県及び関係自治体と連携を図りながら計画的な維持管理に取り組む。						
8	三陸鉄道運行本部大船渡派出所 (車庫)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
		S58	S	60 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	地域の公共交通機関の施設として、今後も機能を維持する。					-
ハード	三陸鉄道(株)、岩手県及び関係自治体と連携を図りながら計画的な維持管理に取り組む。						
9	三陸鉄道 盛駅 (本屋)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
		S58	S	59 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	地域の公共交通機関の施設として、今後も機能を維持する。					-
ハード	三陸鉄道(株)、岩手県及び関係自治体と連携を図りながら計画的な維持管理に取り組む。						
10	三陸鉄道 盛駅 (待合所)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
		不明	S	38 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	地域の公共交通機関の施設として、今後も機能を維持する。					-
ハード	三陸鉄道(株)、岩手県及び関係自治体と連携を図りながら計画的な維持管理に取り組む。						

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期				
11	三陸鉄道 陸前赤崎駅 (待合所)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)		
			不明	S	m ²	旧	H29～R03	R04～R08		
	ソフト	地域の公共交通機関の施設として、今後も機能を維持する。						-	-	
		ハード	三陸鉄道(株)、岩手県及び関係自治体と連携を図りながら計画的な維持管理に取り組む。						-	-
12	三陸鉄道 綾里駅 (待合所)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)		
			S45	S	15 m ²	旧	H29～R03	R04～R08		
	ソフト	地域の公共交通機関の施設として、今後も機能を維持する。						-	-	
		ハード	三陸鉄道(株)、岩手県及び関係自治体と連携を図りながら計画的な維持管理に取り組む。						-	-
13	三陸鉄道 恋し浜駅 (待合所)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)		
			不明	S	11 m ²	旧	H29～R03	R04～R08		
	ソフト	地域の公共交通機関の施設として、今後も機能を維持する。						-	-	
		ハード	三陸鉄道(株)、岩手県及び関係自治体と連携を図りながら計画的な維持管理に取り組む。						-	-
14	三陸鉄道 甫嶺駅 (待合所)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)		
			不明	S	15 m ²	旧	H29～R03	R04～R08		
	ソフト	地域の公共交通機関の施設として、今後も機能を維持する。						-	-	
		ハード	三陸鉄道(株)、岩手県及び関係自治体と連携を図りながら計画的な維持管理に取り組む。						-	-
15	三陸鉄道 三陸駅 (待合所)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)		
			S48	S	15 m ²	旧	H29～R03	R04～R08		
	ソフト	地域の公共交通機関の施設として、今後も機能を維持する。						-	-	
		ハード	三陸鉄道(株)、岩手県及び関係自治体と連携を図りながら計画的な維持管理に取り組む。						-	-
16	盛駅前トイレ (トイレ)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)		
			H12	RC	20 m ²	新	H29～R03	R04～R08		
	ソフト	地域の公共交通機関の関連施設として、今後も機能を維持する。						-	-	
		ハード	東日本旅客鉄道(株)、三陸鉄道(株)、岩手県及び関係自治体と連携を図りながら計画的な維持管理に取り組む。						-	-
17	綾里駅前トイレ (トイレ)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)		
			不明	S	m ²	旧	H29～R03	R04～R08		
	ソフト	地域の公共交通機関の関連施設として、今後も機能を維持する。						-	-	
		ハード	三陸鉄道(株)、岩手県及び関係自治体と連携を図りながら計画的な維持管理に取り組む。						-	-
18	恋し浜駅前トイレ (トイレ)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)		
			H11	W	5 m ²	新	H29～R03	R04～R08		
	ソフト	地域の公共交通機関の関連施設として、今後も機能を維持する。						-	-	
		ハード	三陸鉄道(株)、岩手県及び関係自治体と連携を図りながら計画的な維持管理に取り組む。						-	-
19	甫嶺駅前トイレ (トイレ)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)		
			H10	W	6 m ²	新	H29～R03	R04～R08		
	ソフト	地域の公共交通機関の関連施設として、今後も機能を維持する。						-	-	
		ハード	三陸鉄道(株)、岩手県及び関係自治体と連携を図りながら計画的な維持管理に取り組む。						-	-
20	教員住宅綾里第6・7号		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV方針検討 (現状維持)		
			S57	W	66 m ²	新	H29～R03	R04～R08		
	ソフト	当面は現状を維持する。						-	-	
		ハード	予防保全なしで築50年を目指す。						-	-

(12) その他施設

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期		
21	教員住宅綾里第 8・9 号		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV 方針検討 (現状維持)
			S60	W	70 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	当面は現状を維持する。					-	-
	ハード	予防保全なしで築 50 年を目指す。						
22	教員住宅越喜来第 1 号		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV 方針検討 (現状維持)
			S54	W	52 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	当面は現状を維持する。					-	-
	ハード	予防保全なしで築 50 年を目指す。						
23	教員住宅越喜来第 7 号		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)
			S41	W	84 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	現在及び今後の利用状況を踏まえ、用途を廃止する。					解体(済) (1 百万円)	-
ハード	老朽化に伴い、平成 29 年度に建物を解体した。							
24	教員住宅越喜来第 9 号		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)
			S40	W	56 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	現在及び今後の利用状況を踏まえ、用途を廃止する。					解体(済) (1 百万円)	-
ハード	老朽化に伴い、平成 29 年度に建物を解体した。							
25	教員住宅越喜来第 10 号		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	V 廃止 (除却)
			S38	W	62 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	現在及び今後の利用状況を踏まえ、用途を廃止する。					解体(済) (1 百万円)	-
ハード	老朽化に伴い、平成 29 年度に建物を解体した。							
26	教員住宅越喜来第 12 号		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV 方針検討 (現状維持)
			H11	W	37 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	当面は現状を維持する。					-	-
	ハード	予防保全なしで築 50 年を目指す。						
27	教員住宅越喜来第 13 号		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV 方針検討 (現状維持)
			H11	W	37 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	当面は現状を維持する。					-	-
	ハード	予防保全なしで築 50 年を目指す。						
28	教員住宅吉浜第 1 号		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV 方針検討 (現状維持)
			S56	W	50 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	当面は現状を維持する。					-	-
	ハード	当面は現状を維持するが、長期的には建物は廃止する。						
29	教員住宅吉浜第 2 号		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV 方針検討 (現状維持)
			S57	W	50 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	当面は現状を維持する。					-	-
	ハード	当面は現状を維持するが、長期的には建物は廃止する。						
30	吉浜医師住宅		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	IV 方針検討 (現状維持)
			H11	W	77 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	当面は現状を維持する。					-	-
	ハード	当面は現状を維持するが、長期的には建物は廃止する。						

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期		
31	おおふなと斎苑		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	Ⅲサービス維持（長寿命化）
			H11	RC	986 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	将来的な人口減少を視野に入れながら、施設更新の際には周辺自治体との共同運営を検討する。					中央監視装置交換(済)	耐火ブロック交換
	ハード	代替機能の確保が難しい施設であることから、計画的な維持管理を実施する。					炉圧ダンパー交換(済)	機器類交換
							主燃炉煉瓦積替え(済)	炉入替え
							(32百万円)	(213百万円)
32	丸森墓園 (格納庫)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）
			H3	軽量鉄骨	5 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-
33	丸森墓園 (トイレ)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）
			S47	W	5 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-
34	鬼沢漁港トイレ (トイレ)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）
			H27	W	12 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-
35	砂子浜漁港トイレ (トイレ)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）
			H27	W	12 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-
36	小石浜漁港トイレ (トイレ)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）
			H27	W	12 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-
37	長崎漁港トイレ (トイレ)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）
			H29	W	24 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-
38	浦浜地区緑地広場トイレ (トイレ)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持（現状維持）
			H30	W	14 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-

(13) 公園施設

(13) 公園施設

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期		
1	吉野森公園 (トイレ)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H23	W	12 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-
2	佐倉里公園 (トイレ)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H21	W	12 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-
3	館下公園 (トイレ)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H18	W	12 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-
4	御山下公園 (トイレ)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H19	W	12 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-
5	みどり町公園 (トイレ)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H20	W	12 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-
6	東町公園 (トイレ)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H22	W	12 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-
7	地ノ森公園 (トイレ)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H22	W	12 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-
8	南笹崎公園 (トイレ)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H22	W	12 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-	-
9	永沢公園 (トイレ)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		R3	W	9 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					建て替え(済) (14百万円)	-
ハード	令和3年度に建て替え済み。今後は、必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-		
10	上平公園 (トイレ)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H31	W	12 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					建て替え(済) (14百万円)	-
ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。					-		

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期		
11	下平公園 (トイレ)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	Ⅲサービス維持 (建て替え)	
		S44	W	1 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					-	建て替え (15百万円)
	ハード	トイレの水洗化のため、建て替えを行う。						
12	宮ノ前公園 (トイレ)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	Ⅲサービス維持 (建て替え)	
		S45	W	1 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					-	建て替え (15百万円)
	ハード	トイレの水洗化のため、建て替えを行う。						
13	富沢公園 (トイレ)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H15	W	12 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						
14	台公園 (トイレ)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H13	W	8 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						
15	加茂公園 (東屋)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H22	W	33 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						
16	加茂公園 (トイレ)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H22	W	48 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						
17	大田公園 (トイレ)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H24	W	12 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						
18	赤崎公園 (トイレ)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	Ⅲサービス維持 (建て替え)	
		S43	C B	2 m ²	旧	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					-	建て替え (15百万円)
	ハード	トイレの水洗化のため、建て替えを行う。						
19	佐野公園 (トイレ)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		R3	W	9 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					建て替え(済) (14百万円)	-
	ハード	令和3年度に建て替え済み。今後は、必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						
20	石橋前公園 (トイレ)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)	
		H30	W	12 m ²	新	H29～R03	R04～R08	
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					建て替え(済) (15百万円)	-
	ハード	平成29年度に建て替えを行った。今後は、必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						

(13) 公園施設

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期	
21	諏訪前公園 (トイレ)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
		H30	W	12 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					建て替え(済) (16百万円)
ハード	平成29年度に建て替えを行った。今後は、必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						
22	下権現堂公園 (トイレ)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
		H31	W	12 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					建て替え(済) (14百万円)
ハード	平成30年度に建て替えを行った。今後は、必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						
23	前田公園 (トイレ)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	<u>I 現状維持 (現状維持)</u>
		R2	W	12 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					建て替え(済) (14百万円)
ハード	<u>令和2年度に建て替え済み。今後は、必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。</u>						
24	猪川公園 (トイレ)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
		R2	W	12 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					建て替え(済) (14百万円)
ハード	令和元年度に建て替えを行った。今後は、必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						
25	中井沢公園 (トイレ)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
		R2	W	12 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					建て替え(済) (14百万円)
ハード	令和元年度に建て替えを行った。今後は、必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						
26	轆轤石公園 (トイレ)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
		R2	W	12 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					建て替え(済) (14百万円)
ハード	<u>令和2年度に建て替え済み。今後は、必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。</u>						
27	上手公園 (トイレ)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
		H23	W	12 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					-
ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						
28	天神山公園 (トイレ)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
		H8	W	41 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					-
ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						
29	赤沢公園 (トイレ)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
		H14	W	9 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					-
ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						
30	下船渡公園 (トイレ)	建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	Ⅲサービス維持 (建て替え)
		S55	W	3 m ²	旧	H29～R03	R04～R08
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					-
ハード	トイレの水洗化のため、建て替えを行う。						

No.	施設名／施設情報 施設の方向性					マネジメント方針 対策内容／実施時期		
31	盛川河川敷公園 (トイレ)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
			H22	W	36 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						
32	鬼越ふれあい公園 (トイレ)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
			H7	W	26 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						
33	笹崎公園 (トイレ)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
			H30	RC	9 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						
34	夢海公園 (トイレ)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
			H31	RC	53 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						
35	茶屋前公園 (トイレ)		建築年次	主体構造	延床面積	耐震基準	方針	I 現状維持 (現状維持)
			H30	RC	9 m ²	新	H29～R03	R04～R08
	ソフト	防犯面や衛生面に配慮し、今後も機能を維持する。					-	-
	ハード	必要に応じた小規模修繕を実施し、適正な維持管理を行う。						

4-4 【インフラ資産の対応方針】

道路・橋りょう、上水道・下水道等のインフラ資産については、関係省庁の行動計画や策定指針等を踏まえるとともに、公共施設計画の内容に即しながら、施設所管部署が既存の長寿命化計画等を別途改定して対応（又は新たに策定）することとします。

<道路>

国土交通省の舗装点検要領に基づき、定期点検を実施し、維持管理等の優先順位を定めた維持管理計画の策定に取り組みます。

修繕に当たっては、長寿命化を意識した工法の導入を検討します。

限られた財源の中での確実な維持管理・修繕等に取り組みます。

<橋りょう>

市が管理する橋りょうの中で、架設後30年以上経過した橋りょうは全体の約72%を占めており、近い将来一斉に架け替えの時期を迎えることが予想されます。このことから、計画的かつ予防的な修繕対策の実施へと転換を図り、橋りょうの寿命を100年間とすることを目標とし、修繕及び架け替えに要するコストの縮減に努めます。

令和4年度に改訂予定の「大船渡市橋梁長寿命化修繕計画」において、限られた財源の中での耐震化及び長寿命化を図るため、新技術の導入や橋りょうの集約などを検討します。

<上水道>

令和4年度策定予定の「大船渡市水道事業アセットマネジメント」に基づき、長期的な更新需要及び財政収支の見通し、計画的な維持管理・修繕・更新等の実施に努めます。水道施設の更新検討の際には、今後の水需要の予測から施設のダウンサイジングやスペックダウンの検討を行います。

簡易水道事業については、改良更新を行う際、耐震性の向上等を考慮して災害に強い施設設備の構築に努めるとともに、健全かつ持続的な事業運営を図るため省コスト化やダウンサイジングも検討します。施設設備に不具合が発生する確率を低減

して、突発的な断水事故等を未然に防止するため、予防保全に取り組みます。維持管理業務等については、民間企業の豊富な人的資源や技術力等を活用して職員の負担軽減や技術継承、危機管理体制の強化等を図るため、外部への委託を推進します。

上水道（施設及び管路）については、他の公共インフラと比較して代替性が低く、一旦、事故等が発生した場合、社会的に多大な影響が生じることから、今後も廃止は行わないものとします。

＜下水道＞

大船渡浄化センターストックマネジメント計画等に基づく施設、設備の点検、調査により健全度を判定し、中長期的な財政収支の見通しの下、計画的かつ効率的な施設の更新、長寿命化に取り組みます。

管路については、施設老朽化の問題は顕在化していないことから、公益社団法人日本下水道協会「下水道維持管理指針－2014年版－」等に基づき、予防保全の考え方の下、効率的な点検・診断等の体制の構築と中長期的な改築需要予測による計画的な老朽化対策に取り組みます。

下水道（施設及び管路）については、市民生活を支える上で必要不可欠な基礎的インフラ資産であることから、経営状況や利用状況等の効果検証を踏まえ、「大船渡市下水道事業経営戦略」に基づいて施設を管理し、廃止は行わないものとします。

＜漁港関連施設＞

漁港及び海岸保全施設の点検調査及び機能診断を定期的に行うとともに、下記の「水産物供給基盤機能保全計画」及び「海岸保全施設長寿命化計画」を個別施設計画として位置づけ、更新コストの縮減及び平準化を図りながら、長期的な視点に立った維持管理に取り組みます。

漁港施設については、水産業にとって必要不可欠な施設を良好な状態で維持・活用するため「水産物供給基盤機能保全計画（令和3年3月策定）」に基づき、機能保全工事等の対策を行います。

海岸保全施設（防潮堤等）については、将来にわたり背後地を防護する機能の信頼性を確保するため「海岸保全施設長寿命化計画（令和3年3月策定）」に基づき、効果的かつ効率的な維持管理を行います。

<公園>

公園施設長寿命化計画を策定し、老朽化に対する安全対策の強化と、将来の更新等に係るコストの平準化を図ります。

適正な施設点検や予防保全等の維持管理を行いながら、公園施設長寿命化計画に基づき修繕、更新等を実施します。

利用者や地域ニーズの変遷により、公園機能の見直しが必要な施設の機能再編について検討します。

第5章 公共施設マネジメントの効果

5-1 【将来負担コストの見通し】

前章で示した方向性により公共施設の再配置を実施していった場合における、公共施設に係る令和38年度までの将来負担コストの長期的見通しがどの程度になるか試算します。

ここで算出する将来負担コストは、本計画の数値と、一般社団法人地域総合整備財団が提供する「公共施設等更新費用試算ソフト」等を用いて試算します。

なお、将来負担コストはあくまで現時点での推計であるため、今後の市における公共施設の再配置に係る事業費と必ずしも一致するものではありません。

(1) 公共施設計画における将来負担コスト（当初の試算）

令和38年度まで新たな施設の整備は行わず、既存の公共施設（公共建築物、道路、橋りょう）を全て更新するとした場合の更新費用と施設面積

【更新費用】 約1,100億円

【施設面積】 274,041㎡（※防災観光交流センター完成後の保有量）

平成19年度から平成21年度までの3年間の市民文化会館整備に関する事業費を除く普通建設事業費

【投資可能見込額】 約20.9億円（1年当たりの平均）

令和38年度まで、毎年投資可能見込額を支出していくと仮定すると、

$$20.9 \text{ 億円} \times 40 \text{ 年} = 836 \text{ 億円}$$

更新費用は約1,100億円であることから、

$$1,100 \text{ 億円} - 836 \text{ 億円} = \Delta 264 \text{ 億円}$$

令和38年度までで約264億円、1年あたりにすると、約6.6億円が不足

(2) 個別施設計画を反映した場合の将来負担コスト

本計画により公共施設マネジメントに取り組んだ場合の、令和38年度までにおける更新費用と施設面積を試算すると、次のとおり、**約173億円**のコスト削減が可能となります。

(令和2年3月個別施設計画策定)

【更新費用】 936億円 (約164億円(約14.9%)削減)

【施設面積】 257,932㎡ (約16,109㎡(約5.9%)削減)

(令和 年 月個別施設計画改訂)

<計画期間前半5年間の実績>

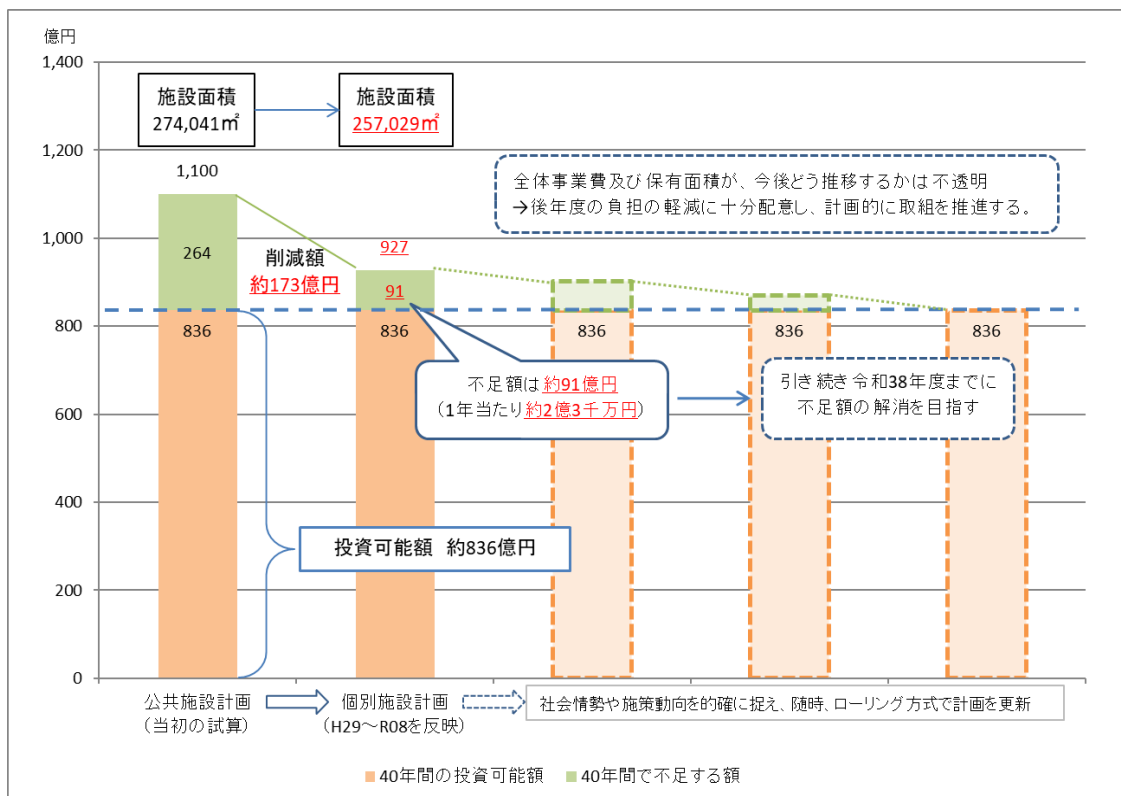
【更新費用】 927億円 (約173億円(約15.7%)削減)

【施設面積】 257,029㎡ (約17,012㎡(約6.2%)削減)

しかしながら、現段階で見込めていない事業費や、検討中又は今後検討予定の施設など、今回試算した施設以外の保有量の適正化の実施等に必要な経費が生じてきます。

国・県の補助金や地方債、必要に応じて基金等の活用により財源を確保するなど、計画的な財政運営を図りながら公共施設マネジメントを実施していきます。

〔図4 令和38年度までの更新費用の削減イメージ〕



5-2 【着実な推進に向けて】

公共施設の保有量等の最適化や再配置は、短期間で一気に進むものではないことから、中長期的な視点により、着実に「実績」を積み重ねていく必要があります。一方で、社会情勢の変化に伴い、公共施設の利用需要についても変化していくことが予想されることから、住民との情報共有や住民ニーズを的確に捉え、時代にあつたまちづくりに取り組んでいく必要があります。

本市では、急速な高齢化の進行や生産年齢人口の減少が、当面は続くことが予想され、財政状況も一層厳しさが増す見込みです。一定の市民サービスを維持しつつ、次世代への負担をできる限り軽減していかなければならないことから、公共施設の適正化の着実な推進に向けて、次の取組を積極的に実施していきます。

(1) 全庁的な取組の推進

本計画の推進を図るため、公共施設マネジメント関係課からなる公共施設マネジメント推進会議(仮称)を設置し、審議事項等は庁内の定例会議で報告を行うなど、計画に基づく取組を全庁的な合意のもとで推進します。

(2) 公共施設保有総量の更なる適正化

計画期間中においても、基本方針に基づき、公共施設保有量の適正化を検討し実行していきます。

(3) 予防保全型維持管理の推進によるライフサイクルコストの縮減

予防保全型維持管理の考え方に基づき、施設の状況等を把握し、必要な対策を実施することで施設の長寿命化を図り、ライフサイクルコストの縮減を目指します。

(4) 施設の有効活用、基金への積立て等による財源の確保

使用料の見直しによる既存施設の有効活用、未利用施設の処分等による財源の確保を図っていくほか、現在の利用者や地域の意見を踏まえつつ、民間活力の導入による有効活用を検討します。

また、必要に応じ、基金への積立てを計画的に行い、公共施設の改修や修繕に活用していきます。

第6章 財政計画

【歳入】

区分	平成22年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	当初予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
1 地方税	3,842	4,349	4,296	4,289	4,317	4,115	4,163	4,189	4,080	4,093	4,107
2 地方譲与税	214	182	186	204	223	223	248	223	223	223	223
3 利子割交付金	11	6	5	2	3	3	3	3	2	2	3
4 配当割・株式譲渡割交付金等	4	18	13	12	52	85	71	53	53	53	53
5 地方消費税交付金	406	686	729	649	877	900	814	900	900	900	900
6 自動車取得税交付金	31	32	34	17	0	0	0	0	0	0	0
7 環境性能割交付金	0	0	0	4	9	8	8	8	9	9	9
8 地方特例交付金	59	8	14	57	26	166	37	72	72	72	72
9 地方交付税	6,630	9,312	8,418	7,106	6,932	6,760	6,566	6,016	6,091	6,074	5,854
10 交通安全対策特別交付金	6	4	3	3	4	3	5	4	4	4	4
11 分担金・負担金	227	161	162	110	53	42	44	69	69	69	69
12 使用料・手数料	114	238	252	250	239	250	263	248	248	248	248
13 国庫支出金	2,270	8,869	4,148	3,771	7,520	4,512	3,306	3,241	3,058	3,084	3,313
14 県支出金	1,287	2,235	1,729	1,316	1,470	1,225	1,442	1,304	1,458	1,245	1,342
15 財産収入	30	320	186	110	93	79	70	100	100	100	100
16 寄附金	13	113	110	111	174	205	301	400	450	500	500
17 繰入金	273	9,932	6,004	4,134	4,776	880	1,389	1,285	632	768	316
18 繰越金	530	5,572	4,022	1,791	1,642	2,068	200	100	100	100	100
19 諸収入	536	939	756	641	671	665	612	655	655	655	655
20 地方債	2,282	1,373	2,018	1,890	1,818	1,960	2,348	2,210	1,400	1,000	1,400
歳入合計	18,765	44,349	33,085	26,467	30,949	24,150	21,890	21,081	19,604	19,200	19,268

※決算額は地方財政状況調査より

【歳出】

区分	平成22年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	当初予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
1 人件費	3,285	3,348	3,352	3,406	3,441	3,404	3,408	3,373	3,373	3,349	3,333
2 物件費	1,901	3,047	2,829	3,061	3,066	3,560	3,202	3,118	3,029	2,973	2,747
3 維持補修費	174	177	153	141	136	124	51	130	130	130	130
4 扶助費	2,859	3,306	3,199	3,329	3,316	4,032	3,106	3,220	3,246	3,271	3,297
5 補助費等	2,520	2,899	4,450	3,598	8,779	2,913	3,414	3,070	3,054	3,017	2,914
6 公債費	2,024	2,149	2,072	2,025	2,045	2,029	2,181	2,190	2,177	2,251	2,606
7 積立金	430	6,119	1,381	1,235	1,148	1,325	555	152	152	152	152
8 投資・出資・貸付金	409	398	392	361	672	748	689	702	671	677	682
9 繰出金	1,904	2,534	2,518	2,436	1,855	1,815	1,539	1,863	1,852	1,835	1,821
10 普通使費事業費	2,583	13,103	9,057	3,761	3,408	3,120	3,740	3,257	1,915	1,540	1,582
11 災害等事業費	38	3,248	1,891	1,472	1,015	110	0	0	0	0	0
12 予備費	0	0	0	0	0	0	5	5	5	5	5
歳出合計	18,127	40,328	31,294	24,825	28,881	23,181	21,890	21,081	19,604	19,200	19,268

※決算額は地方財政状況調査より

<参考資料>

1. 大船渡市公共施設等個別施設計画策定に係る庁内検討委員会設置要綱
2. 大船渡市公共施設等個別施設計画策定経過
3. 大船渡市公共施設等総合管理計画要約版 (令和 年 月改訂)

1. 大船渡市公共施設等個別施設計画策定に係る庁内検討委員会設置要綱

(設置)

第1条 大船渡市公共施設等個別施設計画の策定に当たり、必要な事項を審議検討するため、庁内検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(組織等)

第2条 委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって組織する。

2 委員長は副市長を、職務代理者は統括監をもって充てる。

3 委員は、市の職員のうちから市長が任命する。

4 委員長は、委員会を総理し、委員会を代表する。

5 職務代理者は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第3条 委員会の会議は、委員長が必要に応じて招集し、委員長が議長となる。

2 委員会は、特に必要があると認めるときは、会議に関係者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(庶務)

第4条 委員会の庶務は、総務部財政課において処理する。

(その他)

第5条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

2. 大船渡市公共施設等個別施設計画策定経過

平成31年 4月	公共施設等個別施設計画策定に着手
令和 元年 7月31日	公共施設等個別施設計画策定に係る庁内検討委員会設置
令和 元年 8月20日	第1回公共施設等個別施設計画策定に係る庁内検討委員会
令和 元年 9月20日	第2回公共施設等個別施設計画策定に係る庁内検討委員会
令和 元年10月28日	市議会全員協議会
令和 元年11月19日	パブリックコメント実施（～12月27日）
令和 2年 2月 7日	第3回公共施設等個別施設計画策定に係る庁内検討委員会
令和 2年 3月24日	市議会全員協議会
令和 2年 3月31日	公共施設等個別施設計画策定

大船渡市公共施設等総合管理計画（市が保有する建物やインフラ資産の最適管理に向けた基本方針）要約版（令和 年 月改訂）

1 計画の策定にあたって（今、公共施設の老朽化や更新費用の増加が問題となっています。）

【背景・目的】

全国的に公共施設等の老朽化対策が大きな課題となっているため、総務省から平成26年4月に自治体に対して公共施設等総合管理計画を策定するよう要請がありました。

本市では、人口減少や合併に伴う普通交付税の特例措置期間（平成28年度まで）の終了等による収入の減少と、公共施設の老朽化等に伴う維持管理費や更新費用の増加により、ますます財政運営が厳しくなることが予想されます。

このような状況に対応するため、市が保有する建物や道路などのインフラ資産を含んだ公共施設等の全体像を把握するとともに、資産の最適管理に向けた「基本的な考え方や方向性」を示すものとして本計画を策定します。

【計画期間】

平成29年度から平成38年度までの10年間
 ※本計画を基本方針として、平成31年度までに個別施設計画を策定し、市の最上位計画である次期総合計画（平成33年度～）への反映を目指します。今後の関連計画等の状況等に応じて、適宜見直します。

【計画対象】

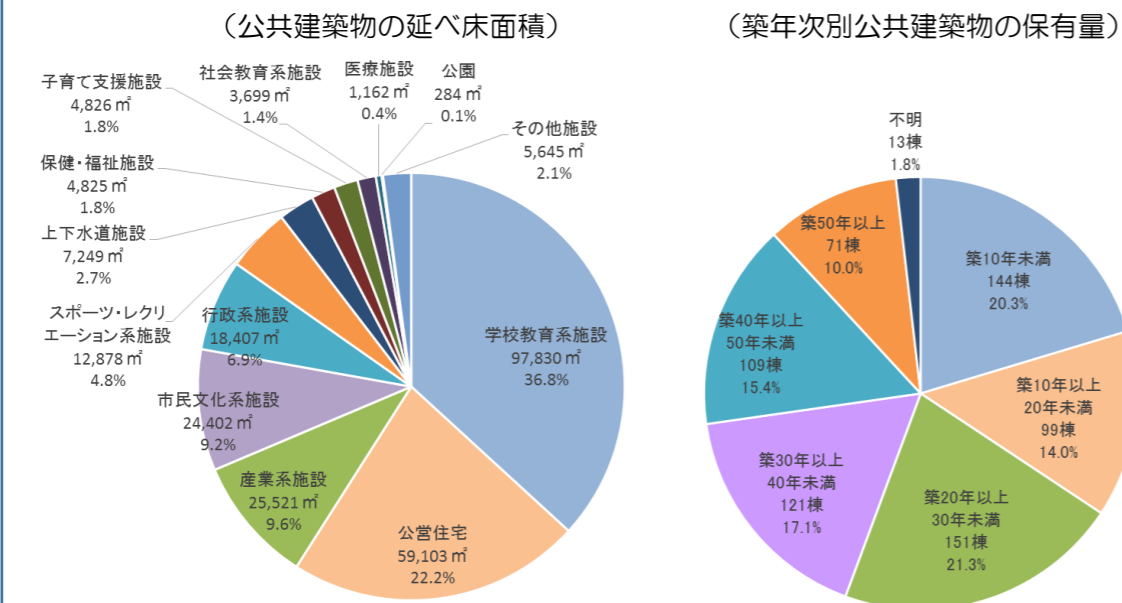
- ・公共建築物：市が保有する建物（庁舎、学校、公営住宅など）
- ・インフラ：市が保有する道路、橋りょう、上水道、下水道など

2 公共施設等の現況及び将来の見通し（市にはどれくらいの公共施設があるのでしょうか？ 人口はどう予測されるのでしょうか？ 施設の建替えにはどのくらい経費がかかるのでしょうか？）

【公共施設等の現況】

(1) 公共建築物

- 本市の公共建築物は、343施設・708棟で面積は約26.5万㎡となっています。
- 公共建築物では約4割が学校教育施設と多く、ついで公営住宅が2割となっています。
- 築年次別の公共建築物では、復旧・復興事業により築10年未満の建物が約4割と多いですが、一方で、築30年以上の老朽化が進んでいる建物も約4割と多くなっています。

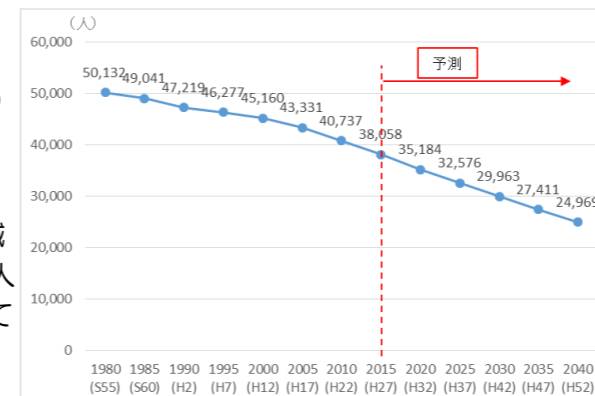


(2) インフラ施設

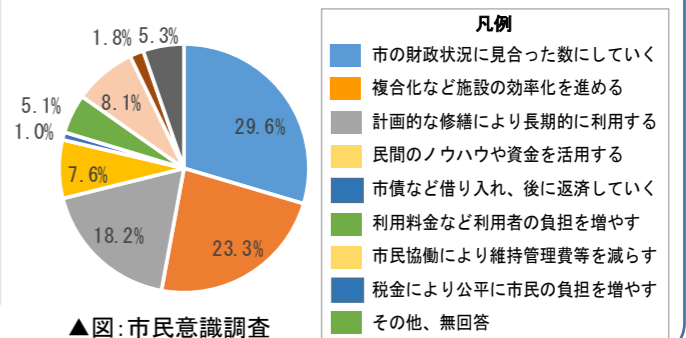
施設	規模	施設	規模
市道・農道・林道	約 746 km	下水道（集落排水含む）	約 116 km
橋りょう	326 本	公園	36 箇所
上水道	約 271 km	漁港	16 箇所

【将来人口の見通し】

- 本市の人口は減少傾向にあり、平成27年で約38,000人となっています。
- 平成52年には、さらに3割ほどが減少し、約25,000人になると推計されています。



※市民意識調査結果（平成28年3月）
 問：今後、公共施設の維持に多くの費用が必要になる場合、どのような取組が必要だと思うか？
 ○「財政状況に見合った数にしていく」と「複合化など施設の効率化を進める」という意見が過半数

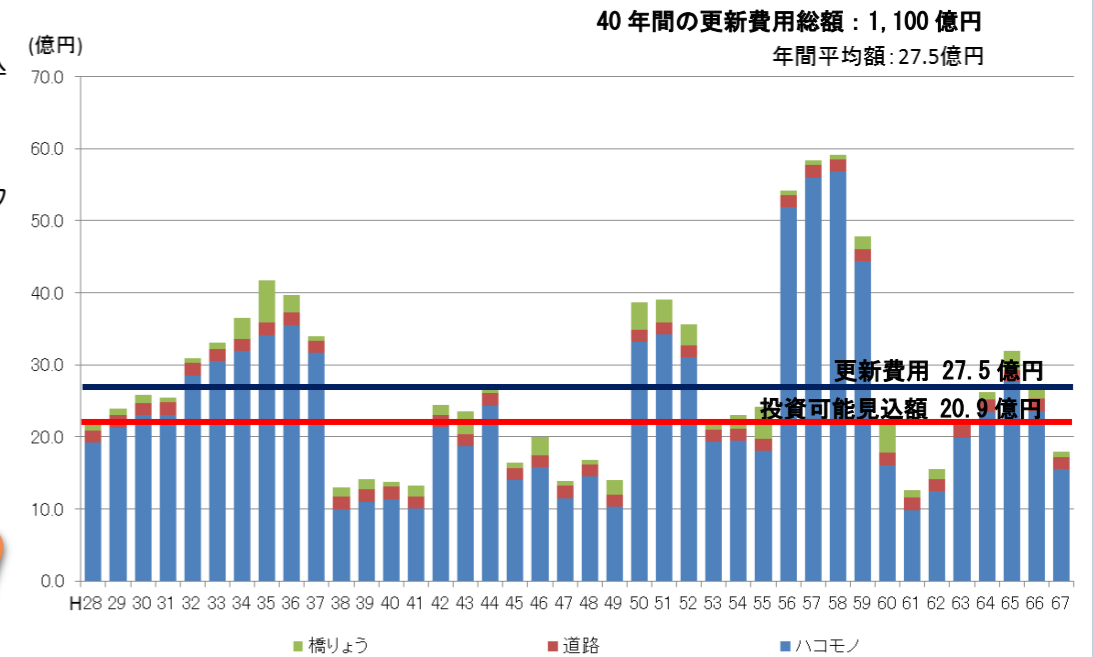


【公共施設等の更新費用の見込み】

- 公共建築物の将来更新費用は年間約27.5億円となり、投資可能見込額（年間約20.9億円）の約1.3倍の更新費用が必要となります。
- 更新費用は、「(財)自治総合センターの試算ソフト」を使用し、投資可能見込額は、震災の影響を受けていない平成19年度から平成21年度までの普通建設事業費（市民文化会館整備関連事業費を除く）の平均により算出しました。



▼図：将来更新費用と投資可能見込額の比較



※調査の結果、このような課題が見えてきました！

- ①老朽化や復興関連事業で新たに建設された施設の維持管理費の増加 ②人口減少等に対応した施設の量と質の見直し ③維持管理業務の効率化 ④将来更新費用の圧縮と平準化

3 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針（課題に対して、どのような対策が考えられるでしょうか？ → 今後の方針を定めました。）

(1) 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

【①公共建築物に関する方針】

○人口減少や財政状況に対応した公共施設の保有量の適正化

- ・市民ニーズの変化を踏まえ、保持可能な公共施設の保有量や水準を見極め、施設の集約化や複合化、用途変更、廃止等について、総合的に検討します。
- ・民間事業者の技術、資金、施設等の活用の可能性についても検討します。

【公共建築物の保有量について】

- ・更新費用の試算結果から、現在の施設保有量（265,829㎡）をそのままの規模で全て更新すると、必要となる費用は「1,100億円」となり、投資可能見込額（836億円）に対して、今後40年間で「264億円」が不足します。
- ・更新費用の不足額（264億円）を1㎡あたりの更新費用（414,176円）から面積換算した結果、床面積にして今後40年間に「63,741.0㎡」分の更新費用が不足することとなります。10年間に均すと床面積にして「15,935.3㎡」分の縮減が必要となります。

・公共建築物の縮減目標

上記を基準として、平成38年度までの「縮減目標を現保有量の6%」（床面積15,950㎡）に設定します。

○新たな考え方による公共施設配置の推進

- ・地域性や人口構成の変化などを踏まえつつ、施設が持つ機能やサービス内容に着目し、市全体のまちづくりの視点から施設の最適な配置を目指します。

【②インフラに関する方針】

- ・インフラは生活や経済を支える基盤として必要であることから、予防保全的な維持管理等の対応により長寿命化を図ります。

【③総務省の指針に基づく項目別の方針】

○点検・診断等の方針

- ・所管部署が計画的に実施するものとし、定期的な研修による人材育成やマニュアルを作成します。
- ・点検等によって得た情報を横断的、一元的に管理する仕組みの構築を検討します。

○耐震化

- ・新耐震基準施行以前（昭和56年以前）に建設した公共建築物のうち、長寿命化すべき施設については、耐震診断や耐震化を実施します。

○脱炭素化(令和 年 月改訂)

- ・再生可能エネルギーの利活用など、施設等の計画的な改修等による脱炭素化を推進します。

○維持管理・修繕、更新等の方針

- ・計画的な修繕・更新等を行う「予防保全的な維持管理」へ移行します。
- ・点検結果を修繕等につなげるマネジメントサイクルを確立します。
- ・エネルギー消費量の多い施設については、原因を分析し、省エネルギー化や再生可能エネルギーの導入を検討します。

○長寿命化

- ・点検診断等の結果を活用して適切に修繕等を行い、長寿命化を図ります。
- ・予防保全の最適な手法を選択しながらライフサイクルコストの縮減を推進します。
- ・統廃合・再編等の方針との整合を図りながら、必要な施設は長寿命化計画を策定します。

○集約化・複合化の方針

- ・費用対効果、施設の利用状況、必要性等を勘案して検討します。
- ・施設の集約化等については、市民と情報を共有しながら優先順位を決定します。
- ・施設の総量を縮減するだけでなく、市民サービスを維持することを基本とします。

○安全確保

- ・点検・診断等により危険性が認められた施設は、使用制限や通行制限を実施し、適切な応急処置を実施します。
- ・用途を廃止し、将来的に利活用が見込めなくなった施設等は除却（解体等）を検討します。

○ユニバーサルデザイン化の推進方針

- ・施設の長寿命化や更新等に当たっては、ユニバーサルデザインへの対応に努めます。
- ・施設の利用者構成（高齢者、障がい者、子育て世代や観光客など）やニーズ等を踏まえ、必要に応じた部分的な改修に取り組みます。

○総合的かつ計画的な管理を実現するための方針

- ・総合計画や行政改革大綱などと連動させて実効性を確保します。
- ・個別施設計画の策定を進め、計画の実現性の向上を図ります。

※計画のフォローアップについては、マネジメントシステムの基本であるPLAN（計画）、DO（実行）、CHECK（評価）、ACT（改善）のPDCAサイクルにより、進捗状況等を評価・検証し改善・改革を実施します。

(2) 全庁的な取り組み体制の構築及び情報管理・共有の推進

公共施設等の総合的かつ計画的な管理には部署間の連携が必要であり、情報共有や調整、進捗管理を円滑に行うため、全庁的な取組を推進します。

○計画推進会議（仮称）の設置

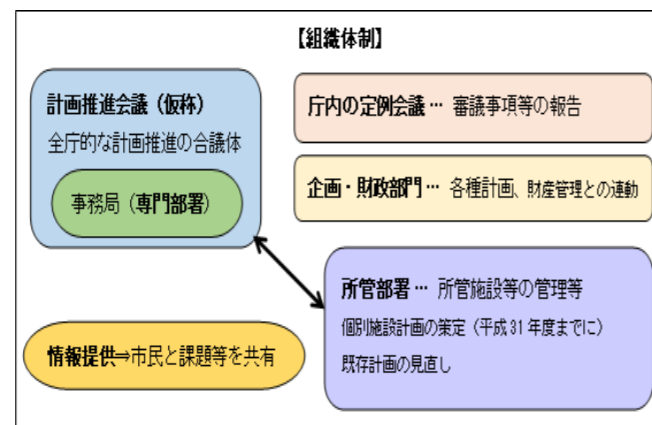
- ・計画を推進する全庁的な組織を設置します。

○専門部署の設置を検討

- ・推進会議の事務局として専門部署の設置を検討します。
- ・公共施設に関する基礎情報等を一元的に管理します。

○情報管理・共有の推進

- ・「市民生活にどんな影響があるのか」ということを念頭に置き、計画の取組について、市民へ情報提供し、課題を共有します。



(3) 施設類型ごとの管理に関する基本的な考え方

※計画中の「施設類型ごとの管理に関する基本的な考え方」から主なものを抜粋して要約しています。

学校教育系施設	公営住宅
<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設については、地域との合意形成を図りながら、「大船渡市立小・中学校適正規模・適正配置基本計画」を策定し、望ましい学校施設の配置を目指すとともに、文部科学省から示されている長寿命化計画の策定に取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も指定管理者制度等を継続し、計画的に維持管理等に取り組みます。 ・「大船渡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の統廃合や長寿命化に取り組みます。
行政系施設（庁舎、消防施設等）	インフラ(令和 年 月改訂)
<ul style="list-style-type: none"> ・本庁舎は築45年が経過していることから、耐震改修工事と設備改修工事を実施し、長寿命化を図ります。 ・消防屯所は、計画的な点検・修繕等を実施し、更新の際は将来の地域別の人口動向等を踏まえ、本市全体としての消防力の維持・向上に資するよう適正な配置を検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路は、定期点検を実施し、維持管理等の優先順位を定めた維持管理計画の策定に取り組みます。 ・橋りょうは、限られた財源での耐震化及び長寿命化を図るため、新技術の導入や橋りょうの集約などを検討します。 ・上水道（管路）は、重要度等を考慮の上、長寿命化を検討し、事業費の平準化を図りながら計画的な維持管理・修繕・更新等に努めます。 ・下水道事業は、予防保全の考え方の下、効率的な点検・診断等の体制の構築と中長期的な改修需要予測による計画的な老朽化対策に取り組みます。
その他施設（公共建築物全般）	
<ul style="list-style-type: none"> ・予防保全的な維持管理を推進します。 	

大船渡市公共施設等個別施設計画

(市が保有する公共建築物やインフラ資産の最適管理に向けたアクションプラン)

令和2年3月

令和3年11月改訂

令和 年 月改訂

大船渡市

(問い合わせ先) 〒022-8501 岩手県大船渡市盛町字宇津野沢 15 番地

大船渡市総務部財政課 (管財係)

電話 : 0192-27-3111 (内線 226、227) FAX : 0192-26-4477